

FUJITSU Network SR-M Webユーザーズガイド

V20

はじめに

このたびは、本装置をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

無線LANを使用した安全なネットワークを構築するために、本装置をご利用ください。

2022年 4月初版

2022年 8月第2版

2023年 1月第3版

本ドキュメントには「外国為替及び外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれています。

従って本ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

Copyright FUJITSU LIMITED 2022-2023

目次

はじめに	2
本書の構成と使いかた	5
本書の読者と前提知識	5
本書の構成	5
本書における商標の表記について	6
本装置のマニュアルの構成	7
第 1 章 はじめに.....	8
1.1 Web 画面で本装置を管理する	9
1.2 WWW ブラウザを準備する	12
1.3 本装置のトップページを表示する	13
1.4 本装置にログイン / ログアウトする	14
1.5 文字入力フィールドで入力できる文字一覧	16
第 2 章 設定.....	17
2.1 初期セットアップ	18
2.1.1 初期セットアップの流れ	18
2.1.2 初期セットアップ手順（詳細）	19
2.2 運用中の設定変更	34
2.2.1 メンバ AP を追加する	34
2.2.2 メンバ AP 追加の流れ	34
2.2.3 メンバ AP 追加手順（詳細）	34
2.2.4 メンバ AP を削除する	37
2.2.5 メンバ AP 削除の流れ	38
2.2.6 メンバ AP 削除手順（詳細）	38
2.2.7 SSID を追加する	38
2.2.8 SSID 追加の流れ	39
2.2.9 SSID 追加手順（詳細）	39
2.2.10 設定反映実行時の影響	43
2.3 装置を保護する	44
2.3.1 自動切断（オートログアウト）の設定	44
2.3.2 不要なサーバ機能の停止	45
2.3.3 HTTP/HTTPS 接続に対するアクセス制限	45
第 3 章 運用管理とメンテナンス	46
3.1 モニタリング	47
3.1.1 ダッシュボードを表示する	47
3.1.2 AP モニタリングを表示する	48
3.1.3 端末モニタリングを表示する	53
3.1.4 障害診断設定を変更する	56
3.2 操作	58
3.2.1 ログインユーザを切断する	58
3.2.2 手動で SSID を閉塞 / 閉塞解除する	59
3.2.3 認証サーバ状態を手動で復旧する	60
3.2.4 認証自動切替機能の状態を手動で復旧する	61
3.2.5 チャンネル最適化を実行する	62
3.2.6 I'm here ランプを点滅 / 停止させる	63

3.3	保守	64
3.3.1	ソフトウェアを更新する	64
3.3.2	設定管理情報を退避・復元する	66
3.3.3	保守情報を取得する	67
3.3.4	AP を装置交換する	68
3.3.5	災害用 Wi-Fi を開放する	72

本書の構成と使いかた

本書では、本装置の基本的な設定方法とメンテナンス情報などについて説明しています。
機器の設置および設定用パソコンの接続方法などは、対象装置の「ご利用にあたって」で説明しています。

本書の読者と前提知識

本書は、ネットワーク管理を行っている方を対象に記述しています。
本書を利用するにあたって、ネットワークおよびインターネットに関する基本的な知識が必要です。
ネットワーク設定を初めて行う方でも「機能説明書」に分かりやすく記載していますので、安心して読みいただけます。

本書の構成

以下に、本書の構成と各章の内容を示します。

章タイトル	内 容
第1章 はじめに	この章では、Web 画面からの基本的な操作方法を説明します。
第2章 設定	この章では、本装置の設定について説明します。
第3章 運用管理とメンテナンス	この章では、運用管理とメンテナンスについて説明します。

マークについて

本書で使用しているマーク類は、以下のような内容を表しています。



ヒント 本装置をお使いになる際に、役に立つ知識をコラム形式で説明しています。

こんな事に気をつけて 本装置をご使用になる際に、注意していただきたいことを説明しています。



補足 操作手順で説明しているもののほかに、補足情報を説明しています。



参照 操作方法など関連事項を説明している箇所を示します。



適用機種 本装置の機能を使用する際に、対象となる機種名を示します。



警告 製造物責任法（PL）関連の警告事項を表しています。本装置をお使いの際は必ず守ってください。



注意 製造物責任法（PL）関連の注意事項を表しています。本装置をお使いの際は必ず守ってください。

本書における商標の表記について

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

製品名の略称について

本書で使用している製品名は、以下のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
Microsoft® Windows® 10 Home 64 ビット版	Windows 10 または Windows
Microsoft® Windows® 10 Pro 64 ビット版	

本装置のマニュアルの構成

本装置の取扱説明書は、以下のとおり構成されています。使用する目的に応じて、お使いください。

マニュアル名称	内容
ご利用にあたって	本装置の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
コマンドユーザーズガイド	コマンドを使用して、時刻などの基本的な設定またはメンテナンスについて説明しています。
コマンドリファレンス	コマンドの項目やパラメタの詳細な情報を説明しています。
コマンド設定事例集	コマンドを使用した、基本的な接続形態または機能の活用方法を説明しています。
機能説明書	本装置の便利な機能について説明しています。
トラブルシューティング	トラブルが起きたときの原因と対処方法を説明しています。
メッセージ集	システムログ情報などのメッセージの詳細な情報を説明しています。
仕様一覧	本装置のハード／ソフトウェア仕様と MIB/Trap 一覧を説明しています。
Web ユーザーズガイド (本書)	Web 画面を使用して、基本的な設定またはメンテナンスについて説明しています。

第1章 はじめに



この章では、Web画面からの基本的な操作方法を説明します。

1.1	Web画面で本装置を管理する	9
1.2	WWWブラウザを準備する	12
1.3	本装置のトップページを表示する	13
1.4	本装置にログイン/ログアウトする	14
1.5	文字入力フィールドで入力できる文字一覧	16

1.1 Web 画面で本装置を管理する

本装置の運用モードについて

本装置の運用モードは以下の2とおりから選択できます。

- CLI 運用モード
コンソール、SSH または Telnet で本装置にアクセスして、CLI で設定や運用管理を行うモードです。
- Web 運用モード
WWW ブラウザで本装置にアクセスして、設定や運用管理を行うモードです。



本装置がどちらの運用モードで動作中かは、show system status コマンドの表示結果から確認いただけます。

こんな事に気をつけて

- Web 運用モードは、V20.05 版以降のソフトウェアで使用できます。
- CLI 運用モードで設定・運用される場合、WWW ブラウザからログインすることはできません。
- Web 運用モードで設定・運用される場合、コンソールや SSH/Telnet で装置にログインすることは可能ですが、設定操作は禁止となります。設定変更した場合は本装置が正常に動作しません。表示コマンドや一部の操作コマンド操作のみ使用可能です。
- 運用モードは、ご購入時の状態から初めに設定を実施する運用モードで決定します。ご購入時の状態から CLI で設定/構成定義保存すると CLI 運用モード、WWW ブラウザで初期設定操作を実施すると Web 運用モードを選択されたことになります。もし運用モードを変更したい場合は、本装置をいったんご購入時の状態に戻したうえで再度設定をしていただく必要があります。
- CLI 運用モードと Web 運用モードでは、本装置で利用できる機能範囲、初期設定値および最大値が異なります。各運用モードで利用できる機能についての詳細は、マニュアル「仕様一覧」の「ソフトウェア仕様」を参照してください。

Web 運用モードについて

本装置の Web 運用モードでは、以下の2つのモードから使用方法を選択できます。

- 集中管理モード (スマートワイヤレスマネージャ機能)
最大 50 台までの本装置をグループ化して、一括で設定・運用管理する運用モードです。
スマートワイヤレスマネージャ機能についての詳細は、機能説明書の「スマートワイヤレスマネージャ機能」を参照してください。
- 独立運用モード (※ 将来提供予定)
本装置 1 台に対して単体の無線 LAN アクセスポイントとして設定および運用管理を実施するモードです。
V20.05 版のソフトウェアでは未提供であり、将来提供予定です。

こんな事に気をつけて

- Web 運用モードは、V20.05 版以降のソフトウェアで使用できます。
- Web 運用モードは、ご購入時の状態からセットアップする初めに選択いただきます。そのため、集中管理モードと独立運用モードは、運用中に変更することはできません。Web 運用モードを変更したい場合は、本装置をいったんご購入時の状態に戻したうえで再度設定をしていただく必要があります。
- 集中管理モードを使用する場合、DHCP クライアント機能は使用できません。すべての AP に固定 IP アドレスの設定が必要です。
- Web 運用モードでは設定管理情報の管理が非常に大切となります。設定変更した場合には、必ず設定管理情報を退避していただき大切に保管してください。万が一、装置故障した場合の復元処理や、ソフトウェアや設定内容を以前の状態に戻す場合に必要となります。

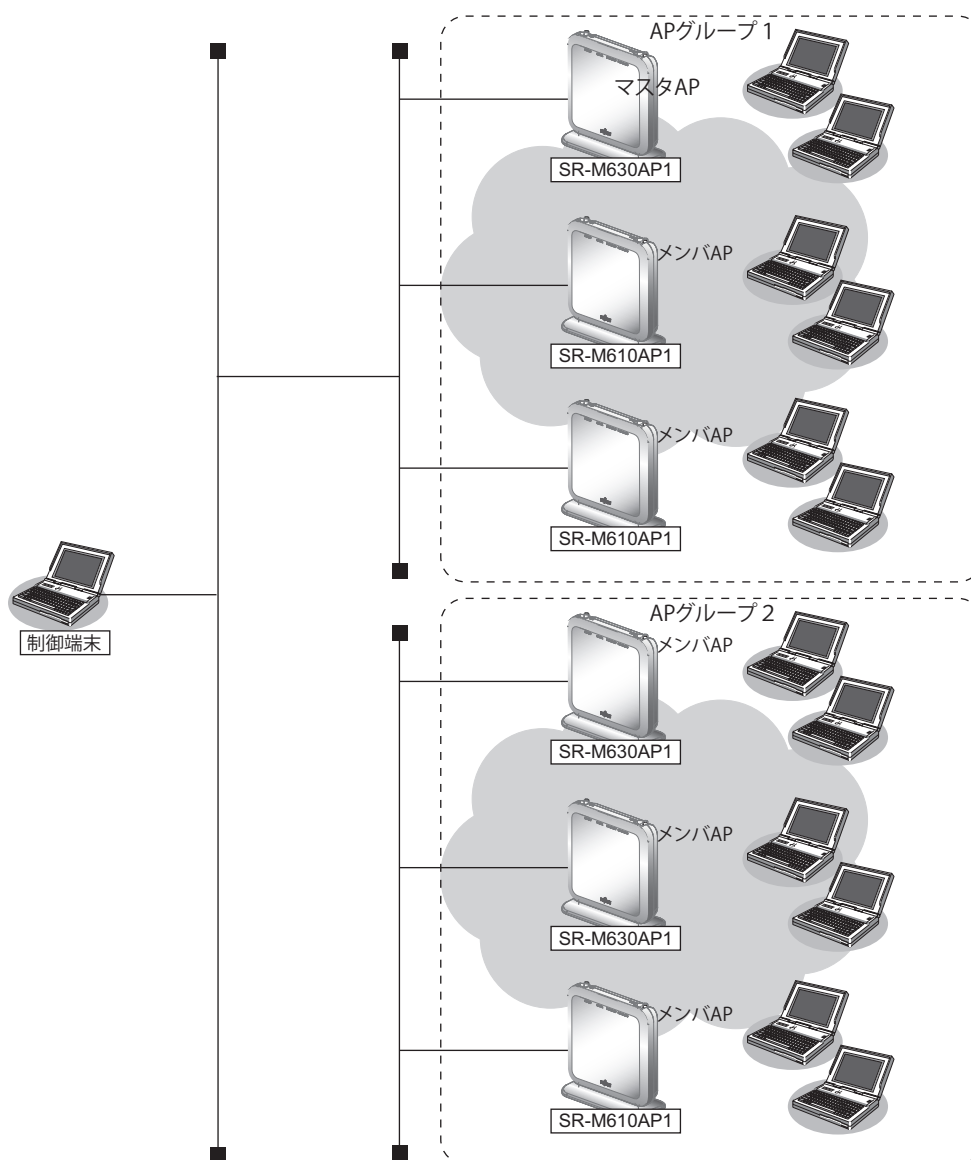
集中管理モード（スマートワイヤレスマネージャ）について

集中管理モードは、1 台のマスタ AP から最大 50 台のメンバ AP（マスタ AP 自身も含まれます）を集中管理する機能になります。

管理者は、マスタ AP の管理画面にのみアクセスする形ですべての AP に対しての各種操作が可能です。複数台の本装置を、フロアや部署など共通の設定で運用するような範囲を AP グループとして構成することで、効率的な設定操作や運用管理を提供します。

- マスタ AP
自身を含む最大 50 台の AP の設定情報と運用の管理を実施します。SR-M630AP1 のみマスタ AP として使用可能です。
管理する AP は最大 10 個までの AP グループに分けて管理することが可能です。マスタ AP もいずれかの AP グループに所属します。
- メンバ AP
マスタ AP から管理される AP になります。メンバ AP に対して管理者が直接アクセスする必要はありません。

集中管理モードの運用イメージ





本機能で管理できるAPIは最大50台となります（*マスタAP自身も管理AP数に含まれます）。
また、グループは最大10グループまで作成することが可能です。

こんな事に気をつけて

- Web 運用モードは、V20.05 版以降のソフトウェアで使用できます。
- 本機能を利用するためには、ご購入状態から Web 画面より初期セットアップ作業を実施いただく必要があります。
- 集中管理モードのマスタ AP は SR-M630AP1 のみ使用できます。メンバ AP は SR-M630AP1、610AP1 が使用できます。
- 集中管理モードで設定した設定管理情報は、マスタ AP の管理画面の保守メニューより一括で退避することができます。
設定変更されたタイミングで必ず設定管理情報の退避を実施いただき、退避データを保管してください。

集中管理モード（スマートワイヤレスマネージャ）の機能概要

集中管理モードが提供する機能の概要は以下のとおりです。

- 構成定義管理機能
管理対象のアクセスポイントをグループごとに管理、効率的な構成定義の設定管理が可能です。
また、ご購入状態の本装置をスイッチングハブに接続した状態で、複数台の装置をまとめてセットアップすることができます。
- 運用管理機能
管理対象のアクセスポイントの稼働状況を一元管理、管理画面上で効率的な運用管理を提供します。
 - AP モニタリング
管理対象アクセスポイントを一覧表示し、稼働状況や通信量を監視できます。
 - 端末モニタリング
管理対象アクセスポイントに接続された無線端末を一覧表示し、接続状況や通信量を監視できます。
 - 障害診断機能
管理対象アクセスポイントおよび接続無線端末に対して、定期的に診断を実施します。
 - 一括操作機能
管理対象アクセスポイントに対して、各種運用中の状態に対しての操作や復旧が実施できます。
 - チャンネル最適化機能
管理対象アクセスポイントのグループごとに、周辺の無線通信の使用状況から最適なチャンネルを自動的に割り当てします。
 - 災害用 Wi-Fi 機能
あらかじめ設定された災害用 SSID を、管理画面のトップページから簡単操作で有効化することが可能です。
- 保守機能
管理対象のアクセスポイントの稼働状況を一元管理、管理画面上で効率的な運用管理を提供します。
 - ソフトウェア更新
管理対象アクセスポイントのソフトウェアを一括で更新管理することが可能です。
 - 保守情報取得
管理対象アクセスポイントの解析情報 (tech-support) を一括で取得することが可能です。
 - 設定管理情報の退避・復元
管理対象アクセスポイントの設定管理情報を一括で退避・復元することが可能です。

参照 [「2.2.1 メンバ AP を追加する」 \(P34\)](#)

1.2 WWW ブラウザを準備する

本装置を利用するには、以下の WWW ブラウザを使用してください。

- Google Chrome

OS およびブラウザの設定が、「Proxy（プロキシ）サーバ機能」を利用しないようになっていることを確認してください。

Windows の場合は、以下のように確認します。

1. Google Chrome を起動します。
2. 検索画面に、chrome://settings と入力するか、ツールバーの [Chrome メニュー] ボタンをクリックします。
3. [設定] タブが表示されたら、[詳細設定を表示] をクリックします。
4. [システム] セクションで [パソコンのプロキシ設定を開く] をクリックします。
5. 自動プロキシセットアップ、手動プロキシセットアップの両方ともオフにします。



こんな事に気をつけて

ファンクションキー「F5」、「戻る」、「進む」、「更新」ボタンによる操作、および「×」ボタンによる終了操作は対応しておりません。実行中の処理が異常終了するなど装置動作の保証ができないため、実施しないでください。

1.3 本装置のトップページを表示する

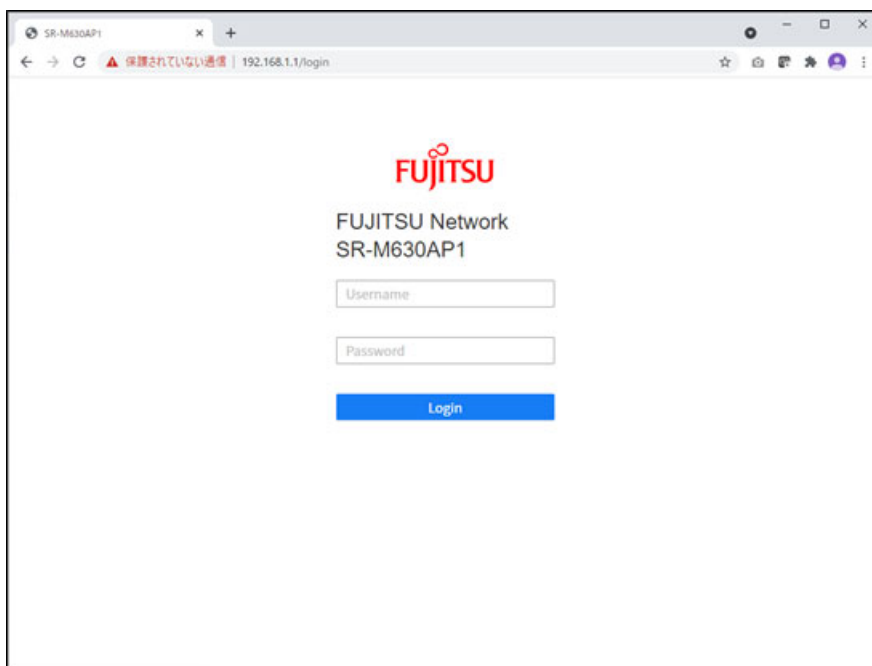
WWW ブラウザを使用して、本装置のトップページを表示します。

こんな事に気をつけて

ご購入時の状態では、IP アドレスは 192.168.1.1 が設定されています。

1. WWW ブラウザを起動します。
2. 本装置の URL 「http://192.168.1.1/」 を指定します。

本装置のログインページが表示されます。



- HTTPS によるアクセスも可能です。サーバ証明書は自己署名証明書となります。
- WWW ブラウザのタイトルバーには、初期状態で機種名 (SR-M630AP1) が表示されます。マスタ AP に AP 名を設定したあとは、タイトルバーにはマスタ AP 名が表示されます。

1.4 本装置にログイン/ログアウトする

本装置にログインする

本装置の URL アクセスにて表示されるログインページにて、ユーザ名とパスワードを入力することによって、本装置にログインすることができます。



WWW ブラウザから本装置へは 1 ユーザのみログイン可能です。複数ユーザが同時にログインすることはできません。

1. 初期設定時は、トップページに以下の項目を指定します。

The diagram shows a login form with three main components: a text input field containing 'admin', a text input field containing 'Password', and a blue button labeled 'Login'. To the right of the 'admin' field is a callout bubble containing the text 'admin'. To the right of the 'Password' field is a callout bubble containing the text '指定しない' (Do not specify).

2. [Login] ボタンをクリックします。

本装置からログアウトする

本装置画面の右上のメニューバーを左クリックすると、「ログアウト」のメニューが表示されます。

「ログアウト」をクリックすると、ログアウトして本装置のログインページに戻ります。



本装置では、デフォルトで 5 分間操作がない場合に自動でログアウトするオートログアウト機能が有効となっております。オートログアウト機能の監視時間は、「設定 > 共通設定 > 基本設定」の詳細設定で変更できます。

こんな事に気をつけて

- ブラウザ右上の「×」ボタンによる終了、およびタブの「×」ボタンによる終了は対応しておりません。実行中の処理が異常終了するなど装置動作の保証ができないため、実施しないでください。
- ブラウザのタブやウィンドウを 2 つ以上立ち上げて画面操作を使用しないでください。

ユーザ名とパスワード

- ユーザ名
管理者は「admin」です（固定ユーザ名）。
- パスワード
ご購入時は設定されていません。初期セットアップ時にパスワードを設定してください。

こんな事に気をつけて

パスワードには 8 文字以上で、英字、数字、記号を混ぜた文字列を設定してください。
7 文字以下、英字のみ、数字のみのパスワードを設定した場合は、脆弱である旨の警告が表示されます。

権限クラス（管理者クラスと一般ユーザクラス）

権限クラスには、管理者クラス（admin）と一般ユーザクラス（user）があります。

権限クラスによって実行できる画面が異なります。

以下に、管理者クラスと一般ユーザクラスで実行できる画面について示します。

権限クラス	画面メニュー			
	モニタリング	設定	操作	保守
管理者クラス	○	○	○	○
一般ユーザクラス	○	×	△ (*1)	△ (*2)

*1) l'mhere のみ実行可能

*2) 保守情報取得のみ実行可能

こんな事に気をつけて

一般ユーザの固定ユーザ名 (user) は、ご購入時の状態では使用できません。
使用する場合は、「設定>AP グループ一覧>AP グループ設定>AP グループ基本設定」で変更可能です。

本装置へのログインに、任意ユーザ名を RADIUS サーバの認証にて使用することも可能です。

その場合、任意ユーザ名の権限クラスは以下の RADIUS アトリビュートによって決定します。

RADIUS アトリビュート（番号）	設定
Filter-ID(11)	管理者クラスの場合："administrator" 一般ユーザクラスの場合："user"

こんな事に気をつけて

RADIUS サーバによる本装置へのログイン認証を使用する場合は、「設定>AP グループ一覧>AP グループ設定>AP グループ基本設定」で設定可能です。

1.5 文字入力フィールドで入力できる文字一覧

管理画面の文字入力フィールドに入力できる文字は以下のとおりです。

	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F
20		!		#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

第2章 設定



この章では、本装置の設定について説明します。

2.1	初期セットアップ	18
2.1.1	初期セットアップの流れ	18
2.1.2	初期セットアップ手順（詳細）	19
2.2	運用中の設定変更	34
2.2.1	メンバAPを追加する	34
2.2.2	メンバAP追加の流れ	34
2.2.3	メンバAP追加手順（詳細）	34
2.2.4	メンバAPを削除する	37
2.2.5	メンバAP削除の流れ	38
2.2.6	メンバAP削除手順（詳細）	38
2.2.7	SSIDを追加する	38
2.2.8	SSID追加の流れ	39
2.2.9	SSID追加手順（詳細）	39
2.2.10	設定反映実行時の影響	43

2.1 初期セットアップ

集中管理モードを利用する場合の初期セットアップについて説明します。

初期セットアップは、AP を運用環境へ設定する前にマスタ AP・メンバ AP をスイッチングハブに接続させた状態で、マスタ AP の管理画面からウィザード形式で流れに沿って実施いただきます。

こんな事に気をつけて

Web 運用モードは、V20.05 版以降のソフトウェアで使用できます。

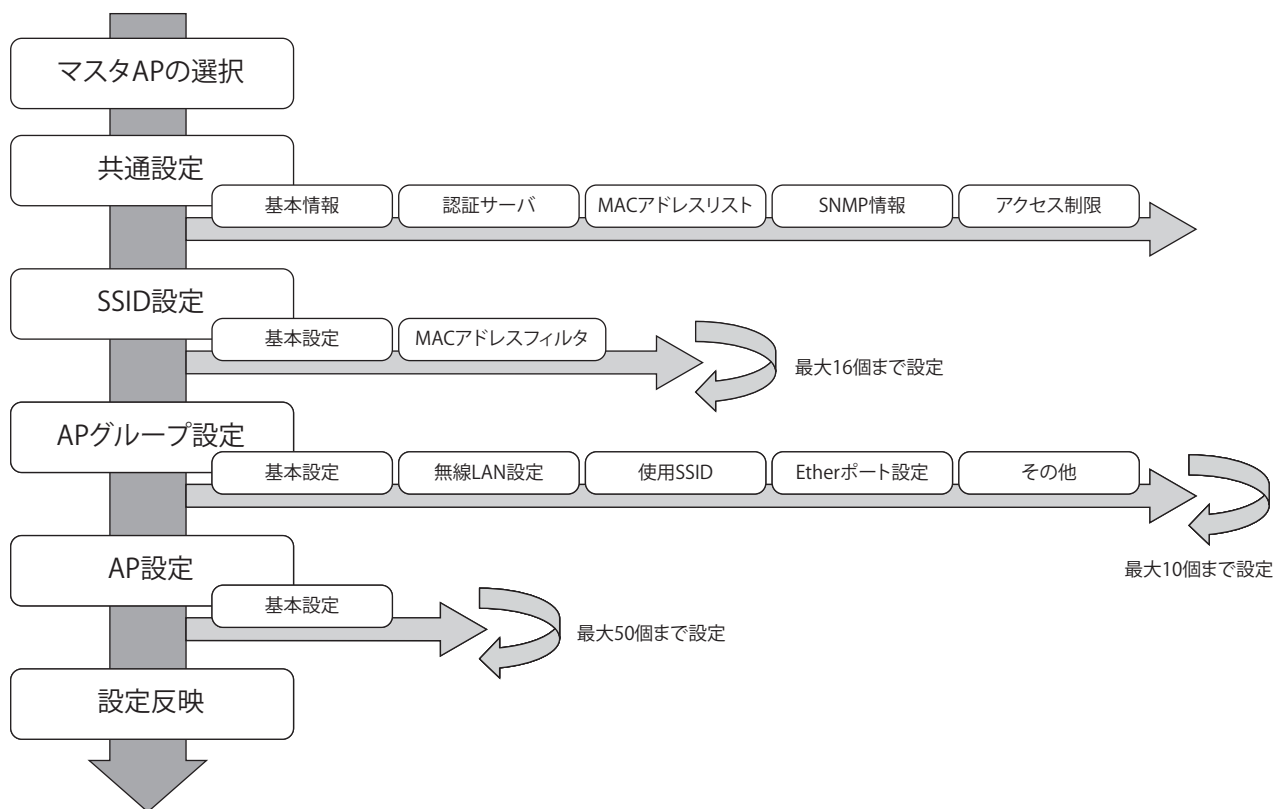
2.1.1 初期セットアップの流れ

初期セットアップ作業の流れは以下のとおりです。

- (1) マスタ AP の選択
マスタ AP とする SR-M630AP1 の IP アドレスを初期状態から変更します。
- (2) IP アドレス設定後のマスタ AP への接続
管理端末の IP アドレスを変更して、(1) で設定した IP アドレスへログインします。
- (3) メンバ AP の接続
AP 設定をするために、ご購入時状態のメンバ AP を必要数台分、スイッチングハブに接続します。
- (4) 共通設定
すべての AP が共通で使用する項目 (認証サーバ、MAC アドレスフィルタ、SNMP など) を、事前に設定します。
- (5) SSID 設定 (最大 16 個)
各 AP グループが使用する SSID を、事前に設定します。
認証機能や MAC アドレスフィルタ機能を使用する場合は、(2) 共通設定で設定した情報を参照設定します。
- (6) AP グループ設定 (最大 10 グループ)
AP グループごとに、無線 LAN 機能、使用 SSID、Ether ポートなどの情報を設定します。
使用 SSID 設定においては、(3) SSID 設定で設定した情報をから選択します。
- (7) AP 設定 (最大 50 AP)
装置固有となる AP 名や IP アドレスなどの情報を設定します。
- (8) 設定反映
設定内容をチェックし、各 AP への設定と反映を実施します。



複数設定可能な SSID 設定・AP グループ設定・AP 設定では、一覧画面から既存の設定を流用して新たに追加する情報の入力を簡略化することも可能です。



2.1.2 初期セットアップ手順（詳細）

実際の画面イメージと合わせて、初期セットアップの手順に沿って説明します。

準備するもの

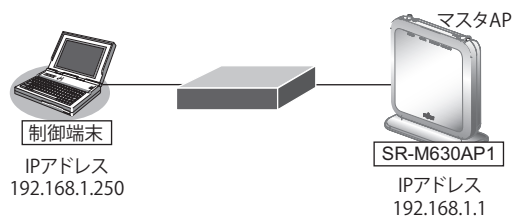
- 設定用の端末（1 台）
- スイッチング HUB
- LAN ケーブル
- 本装置（※ すべてご購入時の状態）
 - マスタ AP . . . SR-M630AP1 1 台
 - メンバ AP . . . SR-M630AP1/610AP1 必要台数

1. マスタ AP の選択

マスタ AP とする SR-M630AP1 を選択し、スイッチングハブ経由で接続します。

設定用端末で WWW ブラウザを起動、本装置の URL 「http://192.168.1.1/」 を指定し、ログイン画面を表示します。

Username=admin、Password=なし、でログインします。



(1) 「新規に設定を行います」を選択します。

FUJITSU SR-M630AP1 admin

初期セットアップ

はじめに

はじめに

このたびは、本装置をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
無線LANを使用した安全なネットワークを構築するために、本装置をご利用ください。

本装置の設定方法を選択してください。

☒ 新規に設定を行います。

☐ 退避した設定管理情報から復元します。

次へ

(2) 「集中管理モード」、「マスタAP」を選択します。

FUJITSU SR-M630AP1 admin

初期セットアップ

はじめに

はじめに

本装置は、運用方法に合わせてセットアップ方法を選択いただけます。

装置の使用方法を選択してください。

☐ 独立運用モード
単独の無線LANアクセスポイントとして使用します。

☒ 集中管理モード (スマートワイヤレスマネージャ)
複数の無線LANアクセスポイントをグループとして一括設定、集中管理します。

本装置の動作モードを選択してください。

☒ マスタAP APグループを管理するアクセスポイントとして動作します。

☐ メンバAP マスタAPに管理されるアクセスポイントとして動作します。

戻る 次へ

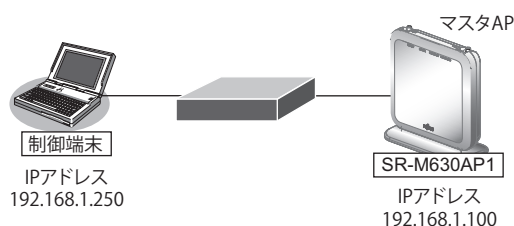
(3) 管理者パスワードおよび、マスタ AP の IP アドレスを設定します。

こんな事に気をつけて

初期セットアップ実行時のマスタ AP に設定する IP アドレスは、工場出荷時の IP アドレス「192.168.1.1」以外のアドレスに変更する必要があります。

2. IP アドレス設定後のマスタ AP への接続

管理端末の IP アドレスを変更して、設定した IP アドレスへログインします。



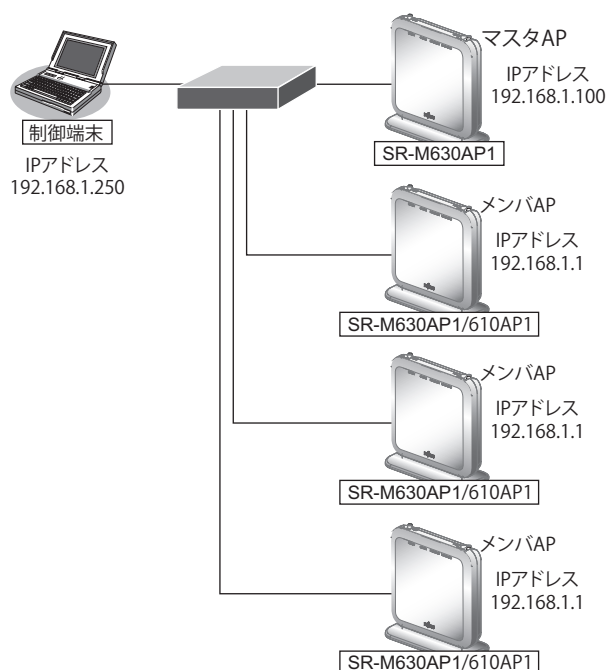
こんな事に気をつけて

これより先のセットアップ作業では、手順 8 の設定反映の画面に到達するまでの間で設定内容を保存することはできません。

設定反映画面に到達する以前にブラウザを閉じたり制御端末を終了したりしないよう注意してください。

3. メンバ AP の接続

AP 設定をするために、ご購入時状態のメンバ AP を必要数台分、スイッチングハブに接続します。



こんな事に気をつけて

- メンバ AP は設定反映が終わるまで接続したままにしてください。途中で切断すると正常に設定できない場合があります。
- メンバ AP として設定したい台数を一度にスイッチングハブに接続できない場合、初期セットアップを終了した後に、AP 追加手順を実施してください。メンバ AP を繋ぎ変えて、初期セットアップを再度実行することはできません。

☛ 参照 [「2.2.1 メンバ AP を追加する」](#) (P.34)

4. 共通設定

すべての AP が共通で使用する項目を、事前に共通設定します。

- 管理者パスワード
管理者パスワードを設定します。
マスタ AP に設定済の管理者パスワードが初期表示されるため、変更は不要です。[次へ] をクリックしてください。

FUJITSU SR-M630AP1 admin

初期セットアップ

共通設定

▼

SSID設定

▼

APグループ設定

▼

AP設定

▼

設定反映

共通設定

管理者パスワード

基本情報

認証サーバ情報

MACアドレスリスト

SNMP情報

アクセス制限

全グループ共通の管理者パスワードを設定してください。
管理者パスワードは別途、APグループ毎に異なるパスワードを設定することも可能です。

管理者パスワード ① *

管理者パスワード(確認用) ① *

次へ



管理者パスワードは、APグループ設定でグループ単位に設定することも可能です。また、RADIUSサーバによる認証を使用する設定も可能です。どちらも以降の「APグループ>基本設定」にて設定できます。

こんな事に気をつけて

- 管理者パスワードには、8文字以上で、英字、数字、記号を混ぜた文字列を設定してください。7文字以下、英字のみ、数字のみのパスワードを設定した場合、脆弱である旨の警告を表示します。
- 設定したパスワードを忘れた場合、ご購入時の状態に戻すことによって、パスワードを消すことができます。ただし、設定内容もすべて初期セットアップからやり直しとなるため、パスワードは厳重に管理してください。

- 基本情報
マスタ AP の時刻設定、システムログサーバ、および NXconcierge 連携に関する設定をします。

共通設定

管理者パスワード → **基本情報** → 認証サーバ情報 → MACアドレスリスト → SNMP情報 → アクセス制限

全グループ共通の基本情報の設定をしてください。

マスタAPの時刻設定 ① ☒ 時刻サーバに同期 時刻同期サーバIPアドレス ① * 192.168.1.110
☐ 手動設定

システムログサーバ ① ☒ 使用する
 サーバIPアドレス ① * 192.168.1.120

NXconcierge連携 ① ☒ 連携する

戻る 次へ



- メンバAPの時刻は、マスタAPから同期されます。
- NXconcierge連携時は、本装置が管理ポータルと通信するために必須となる設定があります。
NXconcierge連携を有効とした場合には、関連する設定箇所「NXconcierge連携」アイコンを表示して、連携時に必要な設定内容や注意事項などを示します。

- 認証サーバ情報
IEEE802.1X認証、MACアドレス認証、または本装置へのログイン認証にてRADIUSサーバを使用する場合に設定します。
認証サーバとアカウントングサーバ、それぞれ最大4台までを認証サーバグループとして事前に設定します。
以降のSSID設定時やAPグループ設定時に認証機能を利用する場合に、本画面で設定した認証サーバグループ名を選択するだけで設定できます。
認証サーバグループは最大16個まで設定可能です。

共通設定

管理者パスワード → 基本情報 → **認証サーバ情報** → MACアドレスリスト → SNMP情報 → アクセス制限

全グループ共通の認証(RADIUS)サーバ情報の設定をしてください。
 認証サーバとアカウントングサーバ、それぞれ最大4台までをグループにして登録できます。
 SSID設定で認証サーバグループを指定することで、IEEE802.1X認証やMACアドレス認証で外部認証(RADIUS)サーバを使用することができます。
 認証サーバグループは最大16個まで指定することが可能です。

RADIUS認証機能 ① ☒ 使用する ☐ 使用しない

認証グループ名 ①	種別 ①	サーバIPアドレス ①	優先度 ①	認証サーバ監視 ①	設定 ①
auth_group1	認証(1st)	192.168.1.200	優先順位1	ICMPで監視する	変更 削除
	アカウントング(1st)	192.168.1.200	優先順位1	-	

戻る 次へ



- 認証サーバおよびアカウントングサーバを複数設定する場合、認証サーバグループ内で正常状態にあるサーバの中から、優先順位の高いサーバが認証で使用されます。
同じ優先順位のサーバが複数存在する場合は、使用するサーバがランダムに決定されます。

こんな事に気をつけて

アカウントिंगサーバは、IEEE802.1X 認証機能でのみ使用します。MAC アドレス認証や、本装置へのログイン認証には使用できません。

• MAC アドレスリスト

MAC アドレスフィルタ機能を使用する場合に設定します。

MAC アドレスフィルタにて接続を許可または拒否したい無線端末の MAC アドレスを、MAC アドレスリストとして事前に設定します。

以降の SSID 設定にて、MAC アドレスフィルタ機能を利用する場合に、本画面で設定した MAC アドレスリストを選択するだけで設定できます。

MAC アドレスリストは最大 16 個まで設定可能です。

1 つの MAC アドレスリストには最大 118 件の MAC アドレスが登録できます。

すべての MAC アドレスリスト合算で最大 500 件の MAC アドレスが登録できます。

MAC アドレスリストは、下記のような入力フィールドに、MAC アドレスを 1 行ごとに記述します。

MAC アドレスは、画面イメージのようにセミコロン(:)で区切ってください。



MAC アドレス一覧の入力フィールドにて、先頭文字に「#」を記述するとコメント行として使用いただけます。

- SNMP 情報
SNMP エージェント機能を使用する場合に設定します。



- SNMP マネージャの IP アドレスに 0.0.0.0 を指定すると、すべてのホストからのアクセスを許可し、トラップは送信しません。
- SNMP 機能における AP 固有の設定は、以降の「AP 一覧 > AP 設定 > AP 基本設定」にて設定します。
- NXconciierge 連携時は、SNMPv1/SNMPv2 マネージャを一つ専用として固定で自動設定します。

こんな事に気をつけて

SNMPv3 機能は、暗号・認証機能のみ利用できます。MIB ビュー情報を使用した許可設定はできません。

- アクセス制限
本装置のサーバ機能で、使用しない機能を停止させる場合に設定します。



- 集中管理モードでは、マスタ AP と各メンバ AP 間の通信利用のため SSH サーバ機能は無効化できません。またマスタ AP では、管理機能で利用する FTP サーバおよび NTP/SNTP サーバ機能は、本画面の設定内容にかかわらず有効となります。
- NXconciierge 連携時は、HTTPS サーバ機能は使用する固定となり無効化できません。

5. SSID 設定

各 AP グループが、使用する SSID を事前に共通設定します。

以降の AP グループ設定の中で、本画面で設定した SSID 一覧の中から使用する SSID を選択することができます。

SSID は最大 16 個まで設定可能です。利用する SSID の設定を繰り返し実行してください。



SSID は新規追加のほかに、設定済の SSID を流用して設定することも可能です。

基本設定

SSID の基本設定をします。必要に応じて詳細設定も可能です。



- 災害用 Wi-Fi 機能を使用する場合、SSID の使用方法で「仮想アクセスポイント(災害用 Wi-Fi)」を指定してください。
- 認証モード「OPEN/Enhanced-OPEN」は、オープン認証とエンハンスドオープン認証の移行モードで使用する、2つの SSID をセットとして設定します。そのため、表示上は 1 つの SSID 登録ですが、2 つの SSID を登録した換算になります。
- MAC アドレス認証または、IEEE802.1X 認証機能を使用するには、「共通設定 > 認証サーバ」の設定が必要です。

こんな事に気をつけて

IEEE802.1X 認証または MAC アドレス認証で、認証サーバから通知された VLAN 割り当てを有効にする場合、バンドステアリングは動作しません。

- MAC アドレスフィルタ設定
当該 SSID で MAC アドレスフィルタ機能を使用する場合に設定します。
MAC アドレスリストを選択して、許可リストまたは拒否リストとして設定します。



補足 MAC アドレスフィルタを使用するには、「共通設定 > MAC アドレスリスト」の設定が必要です。

6. AP グループ設定

AP グループごとに、無線 LAN 機能、使用 SSID、Ether ポートなどの情報を設定します。

AP グループ一覧にて、新規追加をクリックして AP グループを追加します。

AP グループは最大 10 個まで設定可能です。利用する AP グループの設定を繰り返し実行してください。



補足 AP グループは新規追加のほかに、設定済の AP グループを流用して設定することも可能です。

- AP グループ基本設定

AP グループ名、ログインパスワード関連の基本項目を設定します。

ログインパスワードは、共通設定で設定した管理者パスワードに従う場合は入力不要です。



- NXconciierge 連携時は、本装置と管理ポータルとの通信のための設定が必要となります。
- 管理ポータルとの通信時にプロキシサーバを利用する場合には、プロキシサーバの設定が必要となります。また、プロキシサーバのアドレスを FQDN 形式で設定する場合には、DNS サーバの設定が必要となります。
- 管理ポータルとの通信時にプロキシサーバを利用せず、直接インターネット経由で通信する場合には、管理ポータルのアドレス解決のため、DNS サーバの設定が必要となります。

- 無線 LAN 設定

装置全体の無線 LAN 機能の設定をします。無線 LAN モジュール設定はモジュールごとの設定が必要です。必要に応じて詳細設定も可能です。

こんな事に気をつけて

- ProxyARP 機能を使用する場合、IEEE802.1X 認証および MAC アドレス認証にて認証サーバから通知された VLAN 割り当てが有効な SSID は同時に使用することができません。

- スマートワイヤレスマネージャのチャンネル最適化機能を使用する場合、チャンネルボンディング機能は一部制限されます。
 - 2.4GHz 帯では 20MHz のみ使用できます (40MHz は使用できません)。
 - 5GHz 帯では 20MHz/40MHz のみ使用できます (80MHz は使用できません)。
- チャンネル最適化機能を利用する場合は、AP 設置後にチャンネル最適化を実行して運用を開始してください。

 参照 [「3.2.5 チャンネル最適化を実行する」 \(P.62\)](#)

- 使用 SSID 設定
AP グループが利用する SSID を選択します。




VLAN 設定数上限は 24 個です。SSID に設定された VLAN 数が 24 個を超える場合は選択できません。

こんな事に気をつけて

- 認証モードが「SHARED」または「OPEN および暗号化方式が WEP」の SSID は、無線 LAN モジュールの最大通信モードが以下の場合には使用できません。
 - Wi-Fi6(11ax)
 - Wi-Fi5(11ac)
 - Wi-Fi4(11n)
- 認証モードが SHARED または OPEN (暗号化方式が WEP) の SSID は、以下の SSID と同時に使用できません。
 - IEEE802.1X 認証機能が有効、かつ認証サーバから通知された VLAN 割り当てを使用する SSID
 - MAC アドレス認証機能が有効、かつ認証サーバから通知された VLAN 割り当てを使用する SSID
 同時に選択した場合、SHARED または OPEN (暗号化方式が WEP) を設定した SSID は無効となります。
- ProxyARP 機能を使用する場合、以下の SSID は使用できません。
 - IEEE802.1X 認証機能が有効な認証モード、かつ認証サーバから通知された VLAN 割り当てを使用する SSID
 - MAC アドレス認証機能が有効な認証モード、かつ認証サーバから通知された VLAN 割り当てを使用する SSID

- Ether ポート設定
Ether ポートの使用方法および VLAN の設定をします。



- 初期セットアップ時、タグVLAN IDには使用SSIDにて選択したSSIDが使用するVLAN IDを初期値として入力アシストします。実際にご使用になるVLAN設定として適切でない場合は、入力内容を見直してください。
- VLAN設定数上限は24個です。SSIDに設定されたVLAN数と、Etherポートに設定されたVLAN数を合わせて24個を超える場合は設定できません。

こんな事に気をつけて

SR-M630AP1のether1ポートでは、フロー制御機能は設定に関係なく動作しません。(V20.05版～)

- その他
端末可視化機能およびスケジュール設定の設定をします。
スケジュール設定では、SSIDの閉塞/閉塞解除または装置リセットの設定が可能です。



- 端末可視化機能は、「モニタリング>端末モニタリング」画面にてAPに接続された無線端末機器のホスト名、ベンダ名およびOS/機器種別の表示をするために必要な機能になります。また、NXconcierge連携時においても、管理ポータルにて接続端末一覧で表示される情報の収集に必要な設定となります。特別な理由がない限り、「使用する」を選択してください。
- 初期セットアップ時、端末可視化機能の対象VLAN IDにはEtherポート設定で入力されたVLAN IDを昇順にリスト化して入力アシストします。実際にご使用になるVLANとして適切でない場合は、入力内容を見直してください。また、端末可視化機能として選択できるVLANは最大で16個までとなります。

7. AP 設定

装置固有となる AP 名や IP アドレスなどの AP 情報を設定します。

AP はすべての AP グループ合算で最大 50 台まで設定可能です。

初期セットアップ時では、同セグメントに接続されたメンバ AP を自動検出して簡単に設定操作ができます。

自動検出タブを選択すると、自動検出しているメンバ AP が「機種名_シリアル番号」の形式で、仮の AP 名が表示されます。

追加する AP を一覧から選択してください。利用する AP の設定を繰り返し実行してください。

- AP 基本設定

AP の基本項目を設定します。

AP 名、所属する AP グループ、IP アドレスと管理 VLAN を設定します。



- 「AP 名」に使用できる文字は、アルファベット (a～z、A～Z)、数字 (0～9)、ハイフン (-)、アンダースコア (_) です。
- 「AP 設置場所」は、日本語の入力も可能です。
「モニタリング>AP モニタリング」画面などで表示します。設置場所が把握しやすいよう設定してください。

8. 設定反映

すべての AP グループ、AP 設定が完了したら設定内容を各 AP に反映させます。

設定反映画面に進むと、AP グループごとに対象 AP の一覧が表示され、変更内容の有無と定義チェック結果が表示されます。

定義チェック結果に異常がある場合は設定反映操作へ進めません。設定画面に戻り、設定内容の修正をしてください。

以下の設定内容を確認いただき、よろしければ設定反映を実行してください。
チェック結果に異常がある場合は、詳細情報を確認して設定内容を見直しください。

① AP追加時および、AP名またはエアタイムフェアネス機能の設定を変更した場合は、装置の再起動を実施します。
② 設定反映が完了すると自動的にログアウトされます。再ログイン後に設定管理情報の退避を実施いただき、退避データを保管してください。
マスタAPが装置故障した場合の復元処理や、ソフトウェアや設定内容を以前の状態に戻す場合に必要となります。

AP名	変更内容	チェック結果	反映結果	機種名	シリアル番号	IPアドレス/マスクビット数	設置場所
ap42-ap630	-	● 正常	-	SR-M630AP1	1000039	192.168.55.42/24	
ap43-ap630	-	● 正常	-	SR-M630AP1	1000386	192.168.55.43/24	
ap44-ap630	-	● 正常	-	SR-M630AP1	1001221	192.168.55.44/24	
ap51-ap630	-	● 正常	-	SR-M630AP1	1000193	192.168.55.51/24	
ap52-ap630	-	● 正常	-	SR-M630AP1	1000192	192.168.55.52/24	
ap53-ap630	-	● 正常	-	SR-M630AP1	1000188	192.168.55.53/24	
ap54-ap610	-	● 正常	-	SR-M610AP1	1000056	192.168.55.54/24	
ap45-ap630	-	● 正常	-	SR-M630AP1	1000389	192.168.55.45/24	
ap46-ap630	-	● 正常	-	SR-M630AP1	1000206	192.168.55.46/24	
ap47-ap630	-	● 正常	-	SR-M630AP1	1000209	192.168.55.47/24	

設定反映

こんな事に気をつけて

集中管理モードで設定した設定管理情報は、マスタ AP の管理画面の保守メニューより一括で退避することができます。
設定変更されたタイミングで必ず設定管理情報の退避を実施いただき、退避データを保管してください。

2.2 運用中の設定変更

集中管理モードで運用中の設定変更について、説明します。

2.2.1 メンバ AP を追加する

運用中の AP グループ環境に、メンバ AP を増設する場合の設定方法を説明します。

こんな事に気をつけて

Web 運用モードは、V20.05 版以降のソフトウェアで使用できます。

2.2.2 メンバ AP 追加の流れ

メンバ AP を追加する流れは以下のとおりです。

1. **メンバ AP の IP アドレス設定**
ご購入状態の AP に対して、事前に IP アドレスと管理 VLAN ID を設定します。
2. **メンバ AP の設置**
IP アドレスを設定したメンバ AP を運用環境に設置します。
3. **メンバ AP の追加設定**
マスタ AP の管理画面より、メンバ AP の追加設定を実施します。
4. **AP 設定**
装置固有となる AP 名や IP アドレスなどの情報を設定します。
5. **設定反映**
設定内容をチェックし追加 AP への設定と反映を実施します。

2.2.3 メンバ AP 追加手順（詳細）

実際の画面イメージと合わせて、メンバ AP の追加手順を説明します。

準備するもの

- 設定用の端末（1 台）
- LAN ケーブル
- 本装置（※ すべてご購入時の状態）
 - メンバ AP . . . SR-M630AP1/610AP1 必要台数

1. メンバ AP の IP アドレス変更

メンバ AP とする SR-M630AP1/610AP1 を接続します。

設定用端末で WWW ブラウザを起動、本装置の URL 「http://192.168.1.1/」 を指定し、ログイン画面を表示します。

「Username=admin、Password=なし」でログインします。

(1) 「新規に設定を行います」を選択します。

FUJITSU SR-M630AP1 admin

初期セットアップ

はじめに

はじめに

このたびは、本装置をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
無線LANを使用した安全なネットワークを構築するために、本装置をご利用ください。

本装置の設定方法を選択してください。

☒ 新規に設定を行います。

☐ 退避した設定管理情報から復元します。

次へ

(2) 「集中管理モード」、「メンバAP」を選択します。

FUJITSU SR-M630AP1 admin

初期セットアップ

はじめに

はじめに

本装置は、運用方法に合わせてセットアップ方法を選択いただけます。

装置の使用方法を選択してください。

☐ 独立運用モード
単独の無線LANアクセスポイントとして使用します。

☒ 集中管理モード (スマートワイヤレスマネージャ)
複数の無線LANアクセスポイントをグループとして一括設定、集中管理します。

本装置の動作モードを選択してください。

☐ マスタAP APグループを管理するアクセスポイントとして動作します。

☒ メンバAP マスタAPに管理されるアクセスポイントとして動作します。

戻る 次へ

(3) メンバAPのIPアドレス、管理VLAN IDを設定します。

FUJITSU SR-M610AP1 admin

初期セットアップ

はじめに

はじめに(メンバAPモード)

IPアドレスおよび管理VLANの設定をしてください。
その他の設定はマスタAPから配布されます。

IPアドレス/マスクビット数 ① *

192.168.1.101 24

管理VLAN ID

☒ タグなし ☐ タグあり

VLAN ID ① *

1

デフォルトゲートウェイ ①

省略可能

戻る 設定

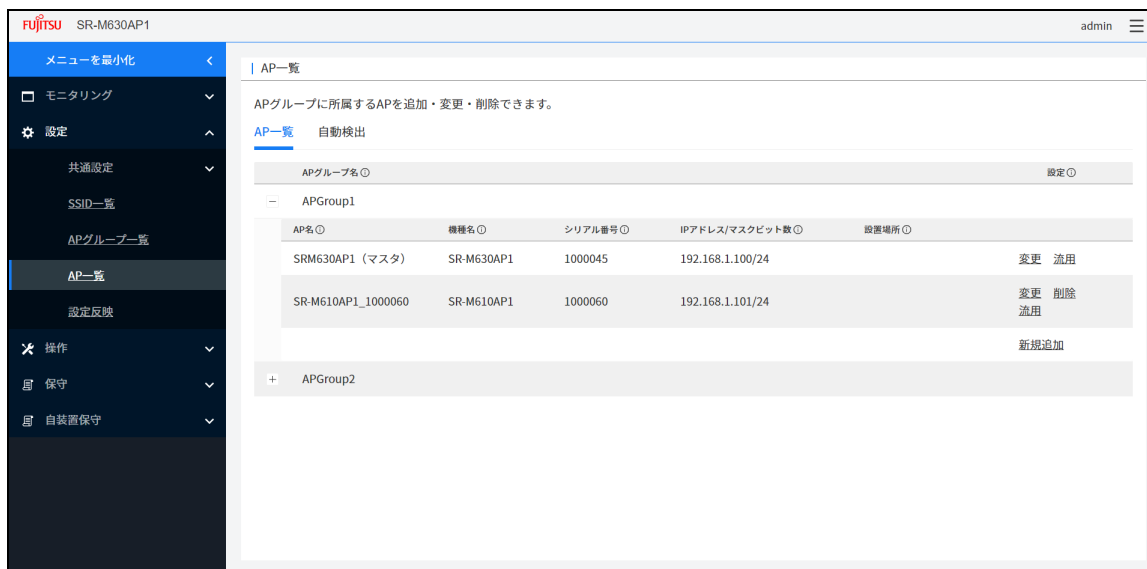
2. メンバAPの設置

IPアドレスを設定したメンバAPを運用環境に設置します。

3. メンバAPの追加設定

マスタAPの管理画面より、「設定>AP一覧」を表示します。

追加するメンバAPを所属させるAPグループ名を選択して、新規追加を実行します。



4. AP 設定

装置固有となるAP名やIPアドレスなどの情報を設定します。



こんな事に気をつけて

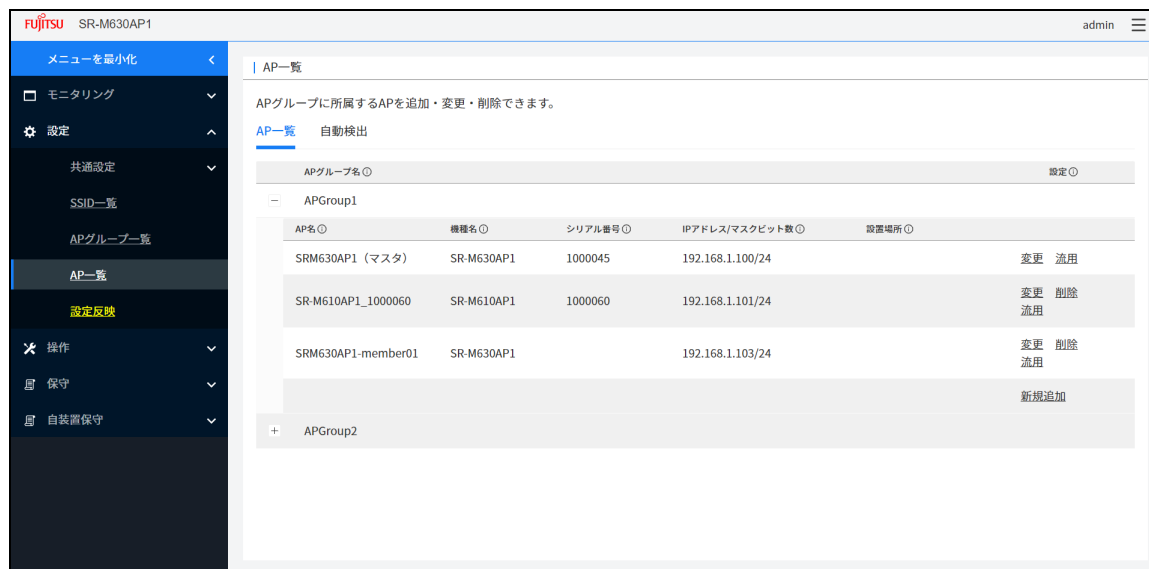
手動でのAP追加時、機種名はSR-M630AP1が初期表示となっています。SR-M610AP1を追加する際は、機種名の変更が必要です。機種名が実際に接続されたAPと異なる場合は設定反映時に失敗となります。

5. 設定反映

設定内容をチェックし追加 AP への設定と反映を実施します。

設定反映画面に進むと、AP グループごとに対象 AP の一覧が表示され、変更内容の有無と定義チェック結果が表示されます。

定義チェック結果に異常がある場合は設定反映操作へ進めません。設定画面に戻り、設定内容の修正をしてください。



補足 追加 AP は、AP 名が設定されるため装置は再起動されます。

こんな事に気をつけて

- 追加した AP のソフトウェア版数が、稼働中の AP の版数と一致しない場合は、ソフトウェア更新を実施してください。
ソフトウェア版数は「モニタリング>AP モニタリング」画面にて確認できます。また、版数が不一致の場合は障害診断機能でも検出されます。

 参照 [\[3.3.1 ソフトウェアを更新する\]](#) (P.64)

- 集中管理モードで設定した設定管理情報は、マスタ AP の管理画面の保守メニューより一括で退避することができます。設定変更されたタイミングで必ず設定管理情報の退避を実施いただき、退避データを保管してください。
- チャンネル最適化機能を利用している場合は、AP 設置後にチャンネル最適化を実行してください。

 参照 [\[3.2.5 チャンネル最適化を実行する\]](#) (P.62)

2.2.4 メンバ AP を削除する

運用中の AP グループ環境から、メンバ AP を撤去する場合の設定方法を説明します。

2.2.5 メンバAP 削除の流れ

メンバAPを削除する流れは以下のとおりです。

1. メンバAPの削除設定

マスタAPの管理画面より、メンバAPの削除を実施します。

2. メンバAPの取り外し

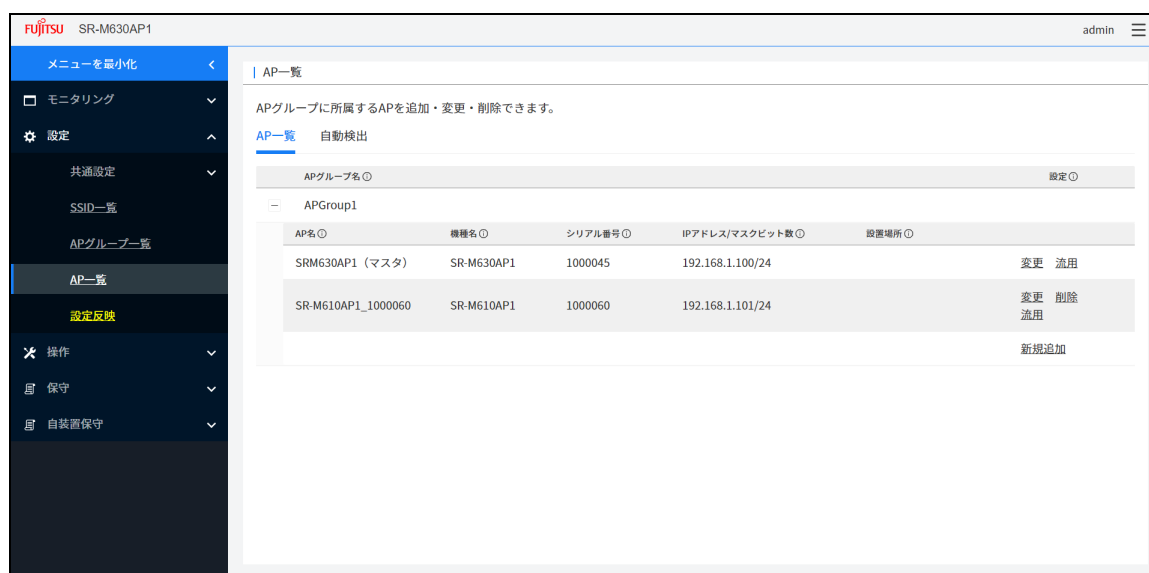
削除したメンバAPを運用環境から取り外します。

2.2.6 メンバAP 削除手順（詳細）

実際の画面イメージと合わせて、メンバAPの削除手順を説明します。

1. メンバAPの削除設定

「AP一覧」画面から、削除するAPの「削除」を実施します。



補足 AP削除時に、対象APをご購入時の状態に初期化するか選択できます。

2. メンバAPの取り外し

削除したメンバAPを運用環境から取り外します。



補足 AP削除時に、「設定反映」処理は必要ありません。

2.2.7 SSIDを追加する

運用中のAPグループ環境に、SSIDを追加する場合の設定方法を説明します。

2.2.8 SSID 追加の流れ

SSID を追加する流れは以下のとおりです。

1. SSID の追加設定

マスタ AP の管理画面より、メンバ AP の追加設定を実施します。

2. 使用 SSID 設定

追加した SSID を使用する AP グループに対して、使用 SSID を追加選択します。

3. 設定反映

設定内容をチェックし追加 AP への設定と反映を実施します。

2.2.9 SSID 追加手順（詳細）

実際の画面イメージと合わせて、SSID の追加手順を説明します。

1. SSID の追加設定

マスタ AP の管理画面より、「設定>SSID 一覧」を表示して、新規追加を実行します。

SSIDに関する設定を追加・変更・削除できます。
SSIDは端末を無線LANネットワークを識別するために使われ、SSIDごとに認証方式やVLAN IDなどを設定することが可能です。
本機能では最大16個までSSIDを設定することができます。
設定済みのSSIDを流用して新規SSIDを作成することもできます。

SSID一覧

No.	SSID ①	使用方法 ②	使用無線モジュール ③	VLAN ID ④	認証モード ⑤	設定 ⑥
1	samplenet1	仮想アクセスポイント	2.4GHz 5GHz(1) 5GHz(2)	1	OPEN	変更 削除 流用
2	samplenet02	仮想アクセスポイント	2.4GHz 5GHz(1) 5GHz(2)	1	OPEN	変更 削除 流用
3	samplenet3	仮想アクセスポイント	2.4GHz 5GHz(1) 5GHz(2)		WPA2/WPA3 Enterprise	変更 削除 流用
4	samplenet4	仮想アクセスポイント	2.4GHz 5GHz(1) 5GHz(2)	1	WPA3 Personal	変更 削除 流用

新規追加

- 基本設定
SSIDの基本設定をします。必要に応じて詳細設定も可能です。

補足 MACアドレス認証または、IEEE802.1X認証機能を使用するには、「共通設定 > 認証サーバ」の設定が必要です。

こんな事に気をつけて

災害用Wi-Fi機能を使用する場合、SSIDの使用方法で「仮想アクセスポイント(災害用Wi-Fi)」を指定してください。

- MACアドレスフィルタ設定
当該SSIDでMACアドレスフィルタ機能を使用する場合に設定します。

補足 MACアドレスフィルタを使用するには、「共通設定 > MACアドレスリスト」の設定が必要です。

2. 使用SSID設定

追加するAPグループごとに、使用SSIDの再設定をします。

APグループ一覧にて、対象となるAPグループの変更をクリックします。

「AP グループ基本設定」、「無線 LAN 設定」を「次へ」でスキップして、「使用 SSID」画面に遷移します。



追加した SSID を使用する AP グループに対して、使用 SSID を追加選択します。



- Ether ポート設定
SSID 追加による VLAN 追加がある場合、Ether ポート設定の VLAN の設定を変更します。



- その他
SSID 追加による VLAN 追加がある場合、端末可視化機能の VLAN の設定を変更します。

3. 設定反映

設定内容をチェックし対象 AP への設定と反映を実施します。

AP名	変更内容	チェック結果	反映結果	機種名	シリアル番号	IPアドレス/マスクビット数	設置場所
ap42-ap630	-	● 正常	-	SR-M630AP1	1000039	192.168.55.42/24	
ap43-ap630	-	● 正常	-	SR-M630AP1	1000386	192.168.55.43/24	
ap44-ap630	-	● 正常	-	SR-M630AP1	1001221	192.168.55.44/24	
ap51-ap630	-	● 正常	-	SR-M630AP1	1000193	192.168.55.51/24	
ap52-ap630	-	● 正常	-	SR-M630AP1	1000192	192.168.55.52/24	
ap53-ap630	-	● 正常	-	SR-M630AP1	1000188	192.168.55.53/24	
ap54-ap610	-	● 正常	-	SR-M610AP1	1000056	192.168.55.54/24	
ap45-ap630	-	● 正常	-	SR-M630AP1	1000389	192.168.55.45/24	
ap46-ap630	-	● 正常	-	SR-M630AP1	1000206	192.168.55.46/24	
ap47-ap630	-	● 正常	-	SR-M630AP1	1000209	192.168.55.47/24	

こんな事に気をつけて

集中管理モードで設定した設定管理情報は、マスタ AP の管理画面の保守メニューより一括で退避することができます。
設定変更されたタイミングで必ず設定管理情報の退避を実施いただき、退避データを保管してください。

2.2.10 設定反映実行時の影響

運用中の設定反映を実行したときの影響について以下に示します。

画面	設定項目	実行時の影響
共通設定		
管理者パスワード		(2)
基本情報		(1)
認証サーバ情報		(1)(a)(b)
MAC アドレスリスト		(2)
SNMP 情報		(1)
アクセス制限		(1)
SSID 一覧		
基本設定		(2)(a)(b)
MAC アドレスフィルタ設定		(2)
AP グループ一覧		
AP グループ基本設定		(2)
無線 LAN 設定		(2)(a)(b)
	チャンネル最適化	(0)
	エアタイムフェアネス	(3)
使用 SSID		(2)(a)(b)
	エアタイムフェアネスの重みづけ	(3)
Ether ポート設定		(2)(a)(b)
	リンクインテグリティ	(2)
その他		(2)
AP 一覧		
AP 設定		(2)
	AP 名	(3)
	AP 設置場所	(0)
	所属 AP グループ	(0)(2)
	IP アドレス、管理 VLAN ID、デフォルトゲートウェイ	(2)(a)

(0) マスタ AP において、該当箇所の該当機能が停止/再開になります。

(1) すべての AP において、該当箇所の該当機能が停止/再開になります。

(2) 該当 AP において、該当箇所の該当機能が停止/再開になります。

(3) 該当 AP において、装置再起動になります。

(a) ether ポートがリンクダウン/リンクアップします。

(b) 該当無線 LAN モジュールおよび関連する無線 LAN インタフェースが、停止/再開になります。

2.3 装置を保護する

本装置に対するセキュリティ対策として、以下の設定を行います。

- 管理者 (admin) 用パスワードの設定 (※Web運用モードでは必須のため設定されています)
- 自動切断 (オートログアウト) の設定 (※Web運用モードでは初期値で5分に設定されています)
- 不要なサービスの停止
- HTTP/HTTPS 接続に対するアクセス制限

2.3.1 自動切断 (オートログアウト) の設定

マスタ AP の管理画面より、「設定 > 共通設定 > 基本情報」を表示し、詳細設定をクリックします。

基本情報(詳細設定)

ランプ消灯機能 ① ☐ 使用する

システムログ(詳細)

プライオリティ ① * ☒ Error ☒ Warning ☐ Notice ☒ Info

ファシリティ ① *

Header部の追加 ① ☐ する ☒ しない

コンソール自動切断の監視時間(分) ① *

Telnet/SSH自動切断の監視時間(分) ① *

HTTP/HTTPS自動切断の監視時間(分) ① *

定期ログ格納間隔(分) ① ☒ する ☐ しない

接続方法ごとに、監視時間を適切な時間に設定します (初期値:5分)。

- コンソール自動切断の監視時間 :5分
- Telnet/SSH 自動切断の監視時間 :5分
- HTTP/HTTPS 自動切断の監視時間 :5分

2.3.2 不要なサーバ機能の停止

マスタ AP の管理画面より、「設定 > 共通設定 > アクセス制限」を表示します。



必要なサーバ機能以外は「使用しない」に設定します。

HTTPS サーバのみを使用する場合の例は以下のとおりです。

- TELNET サーバ機能 : 使用しない
- FTP サーバ機能 : 使用しない
- SFTP サーバ機能 : 使用しない
- HTTP サーバ機能 : 使用しない
- HTTPS サーバ機能 : 使用する
- NTP/SNTP サーバ機能 : 使用しない

2.3.3 HTTP/HTTPS 接続に対するアクセス制限

2.3.2 に続き、「設定 > 共通設定 > アクセス制限」画面にてアクセス許可リストを「使用する」に設定します。新規追加をクリックして、アクセス許可するホストの IP アドレスをアクセス許可リストに登録します。



192.168.10.101 のホストのみアクセス許可する場合の例は以下のとおりです。

- アクセス許可リスト : 使用する
- 送信元 IP アドレス : 192.168.10.101
- マスクビット数 : 32



- アクセス許可リストは、「使用する」と設定した全サーバ共通の設定となります。
- マスクビット数にてネットワークアドレスでのアクセス許可リストの設定も可能です。

第3章 運用管理と メンテナンス



この章では、運用管理とメンテナンスについて説明します。

3.1	モニタリング.....	47
3.1.1	ダッシュボードを表示する.....	47
3.1.2	APモニタリングを表示する.....	48
3.1.3	端末モニタリングを表示する.....	53
3.1.4	障害診断設定を変更する.....	56
3.2	操作.....	58
3.2.1	ログインユーザを切断する.....	58
3.2.2	手動でSSIDを閉塞/閉塞解除する.....	59
3.2.3	認証サーバ状態を手動で復旧する.....	60
3.2.4	認証自動切替機能の状態を手動で復旧する.....	61
3.2.5	チャンネル最適化を実行する.....	62
3.2.6	I'm here ランプを点滅/停止させる.....	63
3.3	保守.....	64
3.3.1	ソフトウェアを更新する.....	64
3.3.2	設定管理情報を退避・復元する.....	66
3.3.3	保守情報を取得する.....	67
3.3.4	APを装置交換する.....	68
3.3.5	災害用Wi-Fiを開放する.....	72

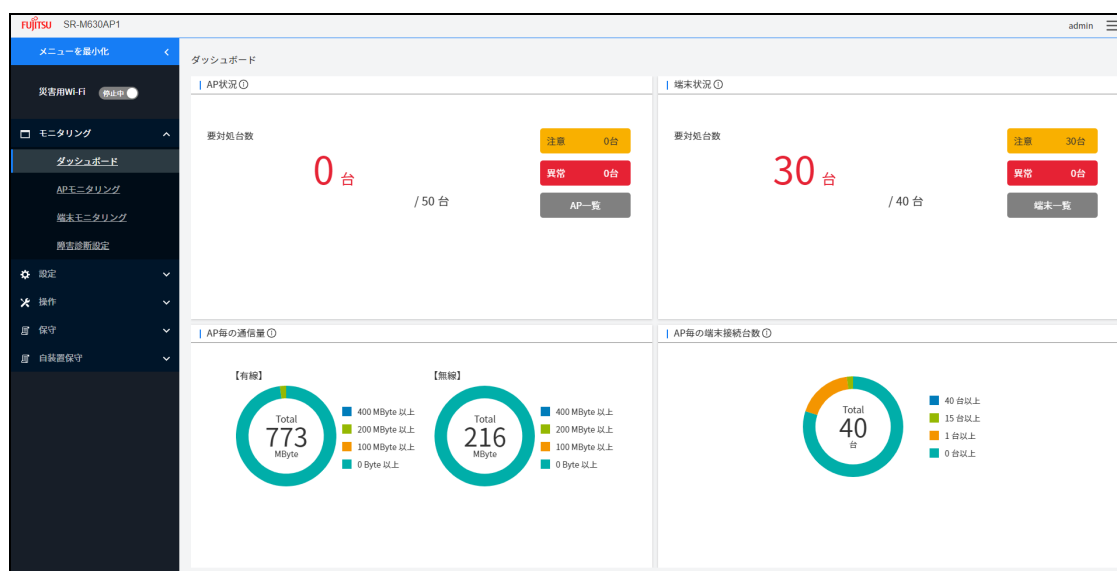
3.1 モニタリング

モニタリング画面では、各 AP の運用中状態や AP に接続された無線端末の状態などを確認できます。

3.1.1 ダッシュボードを表示する

管理画面にログインした際に表示される画面です。各 AP の稼働状況、端末接続状況、および通信量をサマリで表示します。

本画面で管理 AP の運用状態を監視できます。



- AP 状況
障害診断状況から、対処が必要な AP の台数を表示します。
注意、異常、AP 一覧をクリックすると「AP モニタリング」画面に遷移します。
- 端末状況
全 AP に接続された端末の障害診断結果を表示します。
注意・異常・AP 一覧をクリックすると「端末モニタリング」画面に遷移します。
- AP ごとと通信量
AP ごとの有線および無線の合計通信量の内訳を表示します。通信量は送信と受信を合算した 1 日分の合計値です。
- AP ごとの接続端末台数
AP ごとの無線 LAN 端末の接続台数の内訳を表示します。



ダッシュボードの画面は、定期的に自動更新します。

こんな事に気をつけて

マスタ AP の装置起動時、本画面内容の表示開始には数分かかります。

3.1.2 AP モニタリングを表示する

各APの装置情報や通信情報を確認することができます。

装置情報・通信情報(有線)・通信情報(無線)を、タブメニューで表示します。

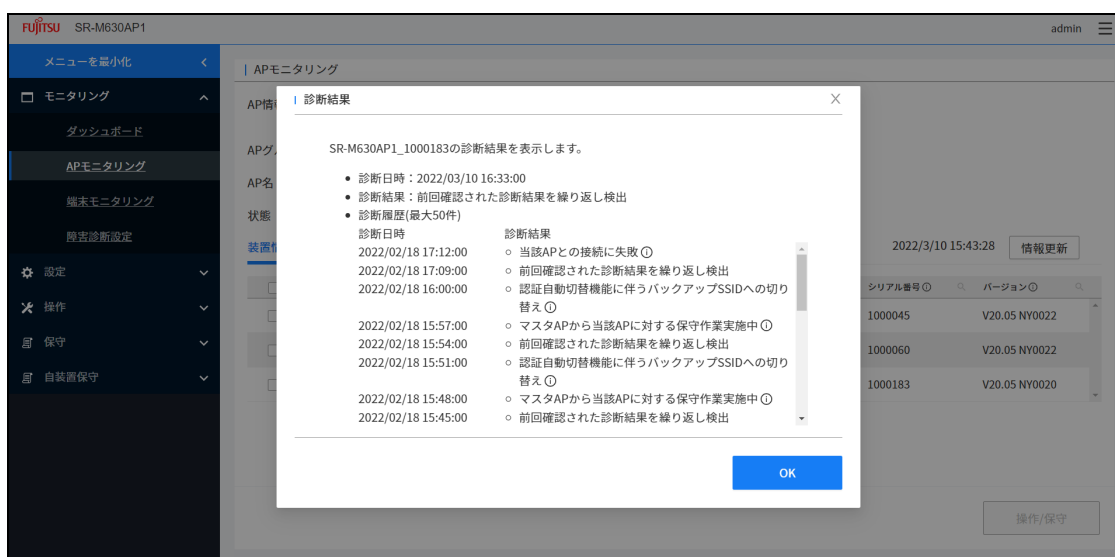
装置情報



状態は以下を示します。

- 緑色
APが正常に動作しています。
- 黄色
装置やネットワーク状況の一時的な異常や、設定誤りの可能性を示します。
- 赤色
装置やネットワーク状況の異常を示します。

状態欄の「詳細」をクリックすると診断結果が表示されます。



診断結果のiマークにカーソルを合わせると診断結果の内容と対処方法の確認ができます。



以下のAP情報を表示します。

- AP名
AP名です。「AP設定>AP基本設定」画面の設定内容を表示します。
- 設置場所
APの設置場所です。「AP設定>AP基本設定」画面の設定内容を表示します。
日本語入力も可能です。
- IPアドレス
APのIPアドレスです。
- 機種名
SR-M630AP1 または、SR-M610AP1 を表示します。
- シリアル番号
APのシリアル番号です。
- バージョン
運用中のソフトウェア版数です。



- AP名にマウスカーソルを合わせるとAPの装置情報（詳細）が確認できます。
- APを選択して「操作/保守」ボタンをクリックすると、操作/保守メニューの以下を簡易的に実施できます。
 - I'm hereのランプ点滅操作
 - 保守情報取得（tech-supportのみ）
 - 装置リセット

こんな事に気をつけて

- マスタAPの装置起動時、本画面内容の表示開始には数分かかります。
- APモニタリングの表示内容は、およそ3分ごとに更新されます。

通信情報（有線）

各APの有線の通信量を一覧表示します。

APモニタリング

AP情報や障害診断結果を表示します。

APグループ: すべてのグループ

AP名: すべてのAP

状態: すべて 正常 注意 異常

装置情報 **通信情報(有線)** 通信情報(無線) 2022/2/21 14:47:33 情報更新

状態	AP名	使用インタフェース	通信量(送信)		通信量(受信)		グラフ表示
			/分	/日	/分	/日	
☒	ap01_w1-g01-mast...	Ether1 Ether2	13.0 KB 0.00 B	91.0 MB 0.00 B	11.4 KB 0.00 B	438 MB 0.00 B	グラフ表示
☒	ap02_w1-g01	Ether1 Ether2	128 B 0.00 B	12.4 MB 0.00 B	7.81 KB 0.00 B	8.11 MB 0.00 B	グラフ表示
☐	ap03_w1-g01	Ether1 Ether2	128 B 0.00 B	20.7 MB 0.00 B	7.88 KB 0.00 B	16.2 MB 0.00 B	グラフ表示

操作/保守

以下の通信情報（有線）を表示します。

- AP名
- 使用インタフェース
使用しているインタフェース (Ether1、Ether2) を表示します。
- 通信量（送信）
Ether ポートの通信量 (送信) を、直近の収集周期および1日の合計値で表示します。
- 通信量（受信）
Ether ポートの通信量 (受信) を、直近の収集周期および1日の合計値で表示します。



グラフ表示をクリックすると、通信量を1日または1週間の時系列でグラフ表示します。

こんな事に気をつけて

- マスタ AP の装置起動時、本画面内容の表示開始には数分かかります。
- グラフ情報の表示内容は、およそ 30 分ごとに更新されます。

通信情報（無線）

各APの無線の通信量を一覧表示します。



以下の通信情報（無線）を表示します。

- AP名
- 使用無線LANモジュール
使用している無線モジュール(2.4GHz、5GHz(1)、または5GHz(2))を表示します。
- 使用チャンネル
使用している無線チャンネルを表示します。
- 接続端末数
無線LANモジュールごとに接続されている端末数を表示します。
- 自AP使用率
使用チャンネルでの本装置の無線使用率を表示します。
- チャンネル使用率
使用チャンネルでの無線装置の無線使用率を表示します。
- 通信量（送信）
無線LANモジュールごとの通信量(送信)を、直近の1分および1日の合計値で表示します。
- 通信量（受信）
無線LANモジュールごとの通信量(受信)を、直近の1分および1日の合計値で表示します。



グラフ表示をクリックすると、接続端末数や通信量、無線使用率を1日または1週間の時系列でグラフ表示します。



こんな事に気をつけて

- マスタ AP の装置起動時、本画面内容の表示開始には数分かかります。
- グラフ情報の表示内容は、およそ 30 分ごとに更新されます。

3.1.3 端末モニタリングを表示する

各APに接続された無線端末情報や通信情報を確認することができます。

端末情報・通信情報を、タブメニューで表示します。

端末情報

各APに接続された無線端末の端末情報や通信状況を一覧表示します。

The screenshot shows the 'Terminal Monitoring' (端末モニタリング) page in the Fujitsu SR-M630AP1 web interface. The page displays a list of connected wireless LAN terminals. The table has columns for Status (状態), MAC Address (MACアドレス), SSID, AP Name (AP名), Host Name (ホスト名), Vendor (ベンダ名), OS/Device Type (OS/機器種別), IP Address (IPアドレス), and VLAN ID (VLAN ID). The Status column shows green circles for 'Normal' (正常) and yellow circles for 'Warning' (注意). The page also includes filters for AP Name (AP名), SSID, and Terminal Connection Status (端末の接続状態), and a 'Refresh' (情報更新) button.

状態	MACアドレス	SSID	AP名	ホスト名	ベンダ名	OS/機器種別	IPアドレス	VLAN ID
● 詳細	3c:38:f4:25:37:4d	ssid1_modify	SR-M610AP1_10...	-	Sony Corporation	Android	192.168.1.128	1
● 詳細	0c:8b:fd:9d:d2:fd	ssid1_modify	SR-M630AP1_10...	-	Intel Corporate	-	192.168.1.20	1
● 詳細	6e:27:1c:8d:9f:d5	ssid1_modify	SR-M610AP1_10...	-	-	-	-	-
● 詳細	2a:b6:11:95:e1:7f	ssid1_modify	SR-M630AP1_10...	-	Unknown	Android	-	1
● 詳細	22:ef:71:31:db:be	ssid1_modify	SR-M610AP1_10...	-	-	-	-	-

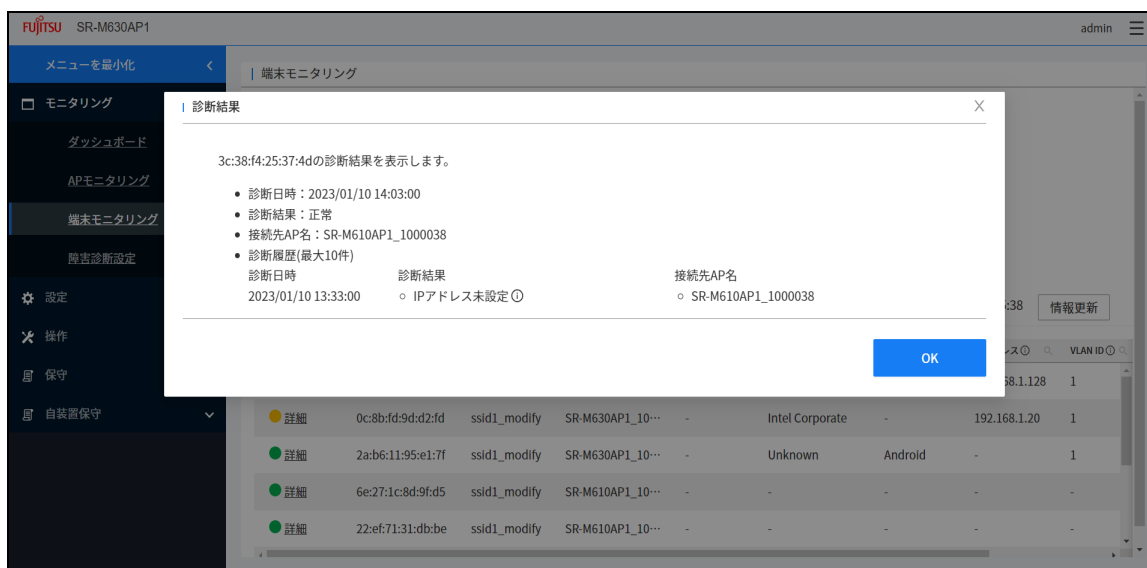
端末の接続状態は以下を示します。

- すべての端末
接続中および切断済の端末情報を表示します。
- 接続中の端末のみ
接続中の端末情報のみ表示します。
- 切断済の端末のみ
切断済の端末情報のみ表示します。

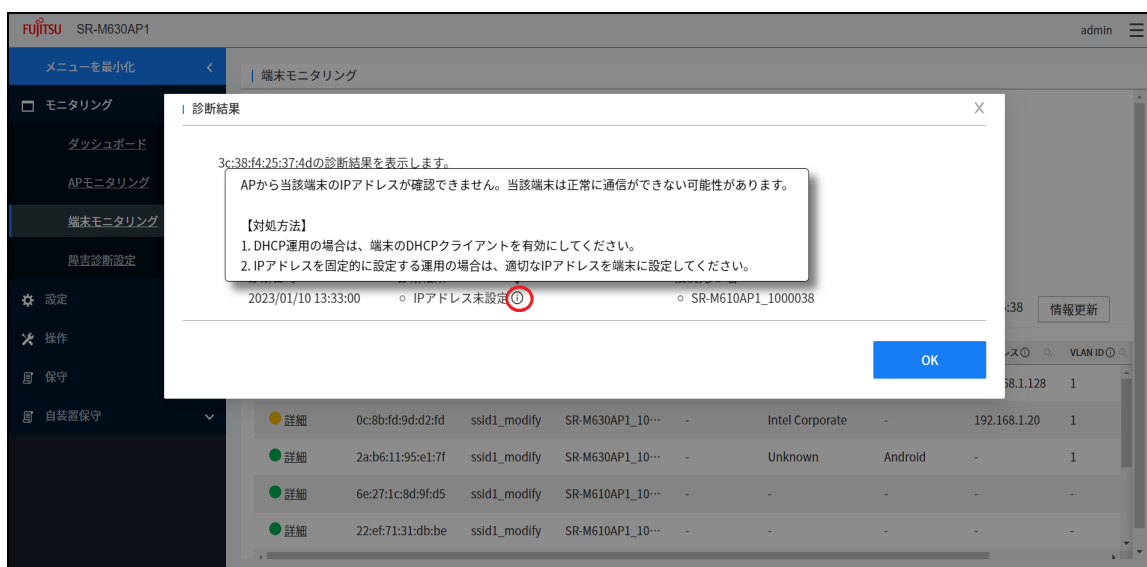
状態は以下を示します。

- 緑色
端末が正常に無線 LAN 接続しています。
- 黄色
端末の無線 LAN 接続の性能低下や、端末の設定誤りの可能性を示します。
- 赤色
端末が通信できない状態を示します。

状態欄の「詳細」をクリックすると診断結果が表示されます。



診断結果のiマークにカーソルを合わせると診断結果の内容と対処方法の確認ができます。



以下の端末情報を表示します。

- MACアドレス
端末が無線 LAN で使用する MAC アドレス
- SSID
端末が接続している SSID
- AP 名
端末が接続している AP
- ホスト名
端末のホスト名
- ベンダ名
端末の MAC アドレスから判別したベンダ名
- OS/ 機器情報
OS または機器情報
- IP アドレス
端末が無線 LAN で使用する IP アドレス

- VLAN ID
端末が所属する VLAN ID
- 切断検出日時
端末の切断を検出した日時



MACアドレスにマウスマウスカーソルを合わせると端末の装置情報（詳細）が確認できます。

こんな事に気をつけて

- マスタ AP の装置起動時、本画面内容の表示開始には数分かかります。
- 端末モニタリングの表示内容は、およそ3分ごとに更新されます。
- 端末情報は、接続中の端末と切断状態になった端末の情報の表示が可能です。切断状態の端末情報は、切断を検出した時点から最大7日間表示されます。
- 認証失敗などで接続に失敗した端末では、MAC アドレス、SSID および AP 名のみ表示されます。
- OS/機器情報は端末可視化機能により推定した結果であり、実際の OS/機器情報と異なる場合があります。
- ペンダ名、OS/機器情報は識別できない場合があります。

通信情報

各 AP に接続された無線端末の通信量を一覧表示します。

The screenshot shows the '端末モニタリング' (Terminal Monitoring) page for the SR-M630AP1. The page includes a sidebar with navigation options like 'メニューを最小化', 'モニタリング', 'ダッシュボード', 'APモニタリング', '端末モニタリング', '障害診断設定', '設定', '操作', '保守', and '自装置保守'. The main content area shows a table of connected wireless terminals. The table has columns for '状態' (Status), 'MACアドレス' (MAC Address), 'SSID', 'AP名' (AP Name), 'モード' (Mode), 'セキュリティ' (Security), '帯域幅/MHz' (Bandwidth/MHz), '受信RSSI/dBm' (Received RSSI/dBm), and '通信レート' (Communication Rate). The table displays four entries, all with a '正常' (Normal) status.

状態	MACアドレス	SSID	AP名	モード	セキュリティ	帯域幅/MHz	受信RSSI/dBm	通信レート
正常	3c:38:f4:25:37:4d	ssid1_modify	SR-M610AP1_10...	11a/n/ac/ax	OPEN(none)	20	-58	172M
正常	0c:8b:fd:9d:d2:fd	ssid1_modify	SR-M630AP1_10...	11b/g/n	OPEN(none)	20	-23	1M
正常	6e:27:1c:8d:9f:d5	ssid1_modify	SR-M610AP1_10...	-	-	-	-	-
正常	2a:b6:11:95:e1:7f	ssid1_modify	SR-M630AP1_10...	11b/g/n	OPEN(none)	20	-	-

以下の通信情報を表示します。

- MAC アドレス
端末が無線 LAN で使用する MAC アドレス
- SSID
端末が接続している SSID
- AP 名
端末が接続している AP
- モード
端末が接続に使用している無線 LAN の通信モード
- セキュリティ
端末が接続に使用している無線 LAN セキュリティモード

- 帯域幅/MHz
無線 LAN の帯域幅 (20MHz、40MHz または 80MHz)
- 受信 RSSI/dBm
AP が受信した端末の電波強度 (dBm)
- 通信レート
データ送信の通信レート
- 通信量 (送信)
端末の通信量 (送信) を、直近の 1 分および 1 日の合計値で表示します。
- 通信量 (受信)
端末の通信量 (受信) を、直近の 1 分および 1 日の合計値で表示します。



グラフ表示をクリックすると、通信量を 1 日または 1 週間の時系列でグラフ表示します。

こんな事に気をつけて

- マスタ AP の装置起動時、本画面内容の表示開始には数分かかります。
- グラフ情報の表示内容は、およそ 30 分ごとに更新されます。
- 切断状態となった端末では、受診 RSSI/dBm、通信レートおよび通信量は表示されません。
- 認証失敗などで接続に失敗した端末では、MAC アドレス、SSID および AP 名のみ表示されます。

3.1.4 障害診断設定を変更する

AP および AP に接続された無線端末の障害診断機能の診断項目について設定を変更し、診断を有効・無効にしたり、検出閾値を変更したりすることができます。

AP 診断・端末診断を、タブメニューで表示します。

初期状態ではすべての診断項目は有効となっています。



一括設定では、すべての診断項目の設定を変更または、初期状態に戻すことができます。

こんな事に気をつけて

障害診断設定は、運用構成上で不都合となる診断項目を停止する場合を除き、設定を変更する必要はありません。

AP 診断

AP に対する障害診断機能設定状態を表示します。

診断分類①	診断内容①	診断レベル①	設定状態①	設定①
AP間接続診断	当該APとの接続に失敗①	異常	実施する	-
	当該APの情報取得に失敗①	異常	実施する	-
	マスタAPから当該APに対する保守作業実施中①	通知	実施する	-
AP装置状態診断	当該APの機種変更を検知①	異常	実施する	-
	当該APの装置故障検出①	異常	実施する	変更
	スマートワイヤレスマネージャの管理情報異常①	異常	実施する	変更
	当該APのソフトウェアバージョンがマスタAPと不一致①	注意	実施する	変更
	当該APの構成定義変更を検知①	注意	実施する	変更

一括設定

端末診断

AP に対する障害診断機能設定状態を表示します。

診断分類①	診断内容①	診断レベル①	設定状態①	設定①
端末IPアドレス設定診断	DHCPによるIPアドレス割り当て失敗①	異常	実施する	変更
	IPアドレス未設定①	注意	実施する	変更
端末無線通信性能診断	電波が弱くなったことによる性能低下①	注意	実施する	変更
	干渉発生による性能低下①	注意	実施する	変更
端末切断診断	認証エラーによる接続失敗①	異常	実施する	変更

一括設定

3.2 操作

操作メニューでは、運用中の各種機能に対して一時的な状態変更や、状態復旧などの操作ができます。

3.2.1 ログインユーザを切断する

管理APごとにログイン中のユーザ情報を表示、指定したセッションを強制切断することができます。

1. 「操作>ログインユーザ切断」画面を選択します。操作したいAPを選択してログインユーザー一覧を表示させます。

ログインユーザを選択して「切断」の操作を実行します。

ログインユーザ切断

各APにログインしているユーザー一覧から、指定したユーザを切断することができます。

AP名: SRM630AP1

ログインユーザー一覧 2022/2/18 13:34:36 情報更新

☐	使用回数	ユーザ名	権限クラス	接続元ホスト	ログイン時刻	無操作時間	操作
☐	SFTP	admin	管理者	192.168.1.10	02/18.14:25	0:00:13	切断
☐	HTTP 0	admin	管理者	192.168.1.10	02/18.14:25	0:00:02	*使用中

一括操作

以下のログインユーザ情報を表示します。

- 使用回線
使用回線種別（コンソール、TELNET、FTP、SSH、SFTP、HTTP）と通し番号
- ユーザ名
ログインユーザ名
- 権限クラス
ログインユーザの権限クラス（管理者、一般ユーザクラス）
- 接続元ホスト
接続ホストのIPアドレス
- ログイン時刻
ログインした日時
- 無操作時間
最終操作からの経過時間

以下の操作が可能です。

- 切断
ログインユーザを強制切断します。

こんな事に気をつけて

本画面は、同時に複数のAP情報を一覧表示することはできません。APごとに最新の状態を確認のうえ操作してください。

3.2.2 手動でSSIDを閉塞/閉塞解除する

管理APごとにSSIDの利用状況を一覧で表示、指定したSSIDを一時的に閉塞させることができます。

1. 「操作>SSID閉塞制御」画面を選択します。操作したいAPを選択してSSID状態を表示させます。SSIDを選択して「閉塞」または「閉塞解除」の操作を実行します。



以下のSSID情報を表示します。

- 状態
SSIDの閉塞状態です。
- SSID
SSID名です。
- 使用方法
仮想アクセスポイント/仮想アクセスポイント（災害用Wi-Fi）
- 認証モード
SSIDの認証モード
- 接続端末数
SSIDに接続されている端末数

以下の操作が可能です。

- 閉塞
SSIDを閉塞し使用できないようにします。接続中の端末は切断されます。
- 閉塞解除
閉塞中のSSIDを開放し、使用できるようにします。

こんな事に気をつけて

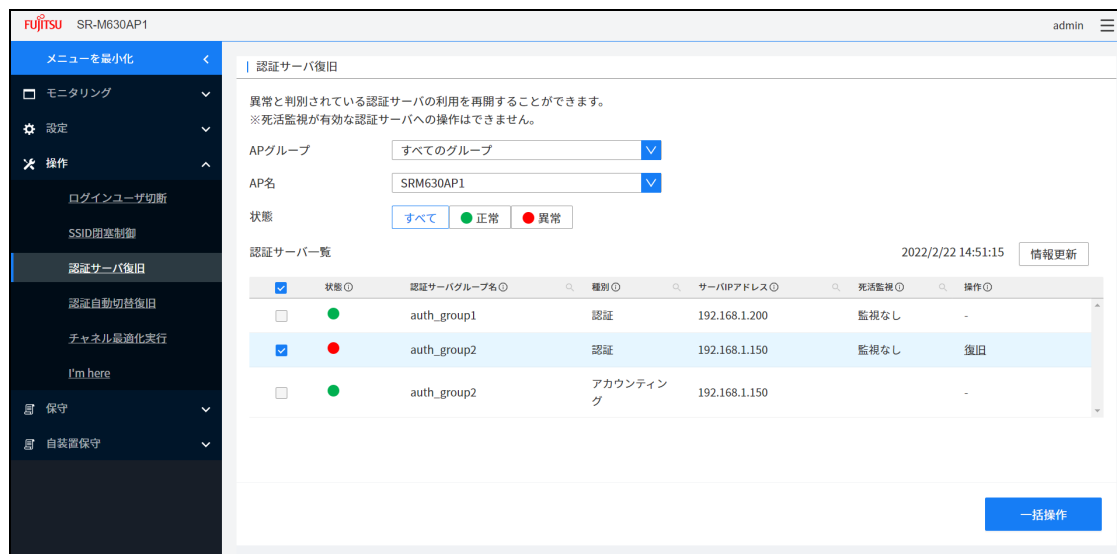
- 本画面は、同時に複数のAP情報を一覧表示することはできません。APごとに最新の状態を確認のうえ操作してください。
- 認証自動切替機能を使用する場合、マスタSSID・バックアップSSIDは同時に閉塞または閉塞解除されます。閉塞または閉塞解除する場合は、どちらか一方のSSIDを指定してください。
- 仮想アクセスポイント（災害用Wi-Fi）のSSIDは、災害用Wi-Fiを開放中のみ表示されます。

3.2.3 認証サーバ状態を手動で復旧する

状態異常にて使用しない状態となっている認証サーバの状態を復旧させることができます。

1. 「操作>認証サーバ復旧」画面を選択します。操作したいAPを選択して認証サーバグループの状態を表示させます。

認証サーバグループ名を選択して「復旧」の操作を実行します。



以下の情報を表示します。

- 認証サーバグループ名
「共通設定>認証サーバ情報」で設定したグループ名です。
- 種別
認証サーバまたはアカウントングサーバ
- サーバIPアドレス
認証サーバのIPアドレスです。
- 死活監視
死活監視の設定および監視方法（ICMPまたは認証フレーム）

以下の操作が可能です。

- 復旧
異常と判断された認証サーバの状態を正常に戻し、使用できるようにします。

こんな事に気をつけて

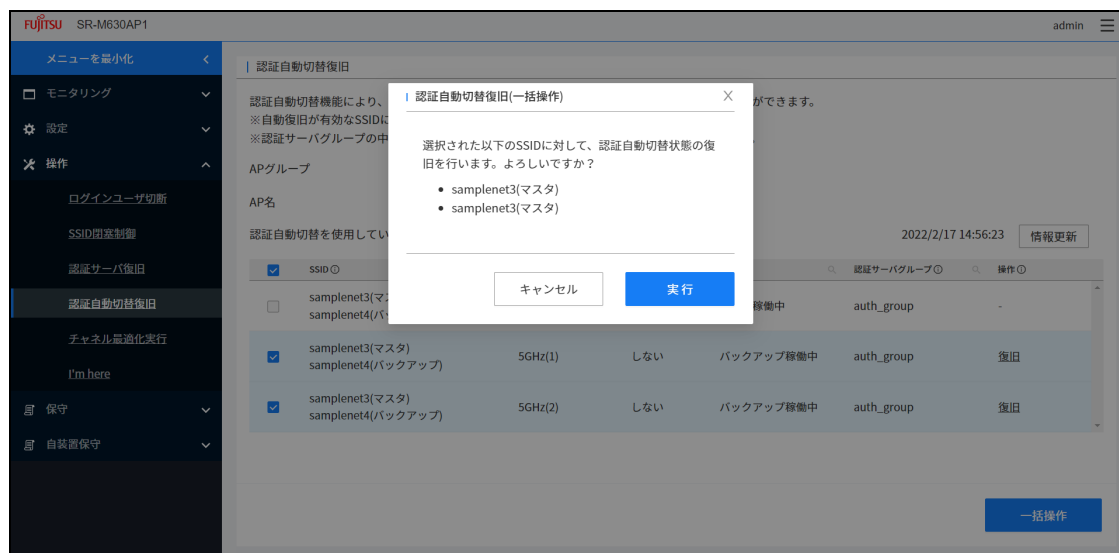
- 本画面は、同時に複数のAP情報を一覧表示することはできません。APごとに最新の状態を確認のうえ操作してください。
- 死活監視が有効な認証サーバは、監視状態により自動復旧するため、本画面での復旧操作はできません。

3.2.4 認証自動切替機能の状態を手動で復旧する

認証自動切替機能にて、バックアップ SSID が稼働中の状態からマスタ SSID の稼働に復旧させることができます。

1. 「操作 > 認証自動切替復旧」画面を選択します。操作したい AP を選択して認証自動切替機能の状態を表示させます。

SSID を選択して「復旧」の操作を実行します。



以下の情報を表示します。

- SSID
認証自動切替機能を使用している SSID です。
- 無線モジュール
無線 LAN モジュール
- 自動復旧
自動復旧の設定状態です。
- 状態
マスタ稼働中/バックアップ稼働中
- 認証サーバグループ
マスタ SSID の認証で使用する認証サーバグループです。

以下の操作が可能です。

- 復旧
マスタ SSID を復旧し、バックアップ SSID を閉塞します。
認証サーバが正常状態の場合に復旧操作が可能となります。

こんな事に気をつけて

本画面は、同時に複数の AP 情報を一覧表示することはできません。AP ごとに最新の状態を確認のうえ操作してください。

3.2.5 チャネル最適化を実行する

指定したAPグループのチャネル最適化を手動で実行できます。

定期実行されたチャネル最適化処理も含めた前回実施結果や、使用中チャネルなどの確認ができます。

1. 「操作>チャネル最適化実行」画面を選択します。操作したいAPグループを選択して[一括操作]の操作を実行します。

チャネル最適化機能

チャネル最適化を即時実行したり、キャンセルすることができます。

AP一覧 2022/2/18 18:05:42 情報更新

APグループ名	前回実施結果	実施状況	操作
☒ APGroup1	-	定期実行しない	即時実行
AP名	機種名	使用モジュール	使用チャネル
SR-M630AP1	SR-M630AP1	2.4GHz	11
		5GHz(1)	60
		5GHz(2)	136
			接続端末数
			0
SR-M610AP1_1000060	SR-M610AP1	2.4GHz	11
		5GHz	64
			0
			0
SR-M630AP1_1000183	SR-M630AP1		
☐ APGroup2	-	定期実行しない	

レーダ検出チャネル一覧

一括操作

以下の情報を表示します。

- 前回実施結果
前回実施結果を表示します。
- 実施状況
次回実施予定または現在実施状況を表示します。

以下の操作が可能です。

- 即時実行
チャネル最適化処理を実行します。
- キャンセル
実施中、または実施待ちとなっているチャネル最適化処理をキャンセルします。



【レーダ検出チャネル一覧】ボタンを押下すると、レーダが頻繁に検出されたためチャネル最適化の利用対象外としているチャネル情報が確認できます。APの移設やレーダ側のチャネル変更などによる環境の変化が生じた場合に、クリア操作することで再びチャネル最適化の利用対象とすることが可能です。

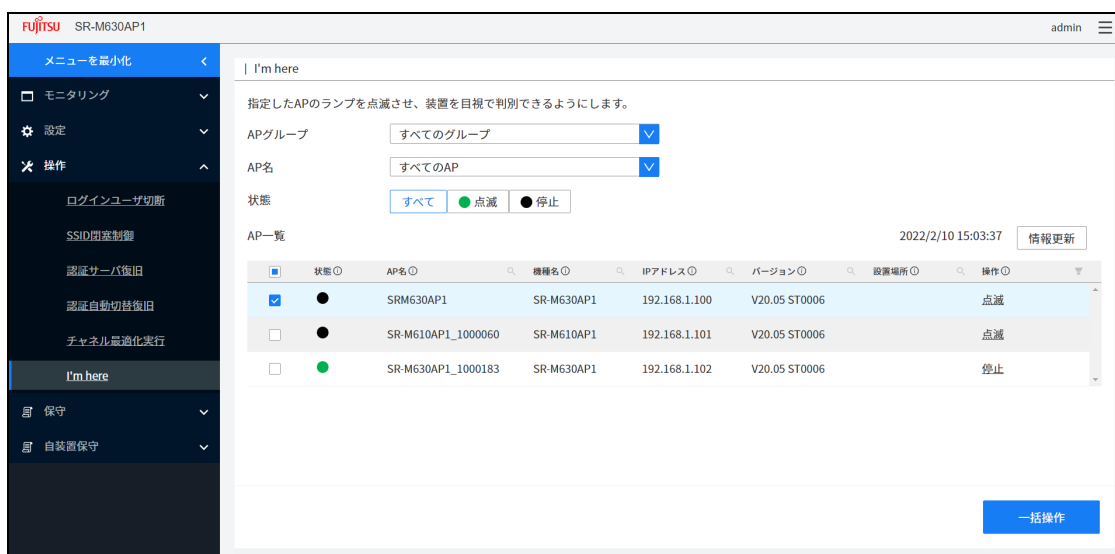
こんな事に気をつけて

- チャネル最適化機能を使用するためには、「設定>APグループ>無線LAN設定」画面で設定が必要です。
- チャネル最適化機能を利用する場合は、AP設置後に本画面にてチャネル最適化を実行してください。

3.2.6 I'm here ランプを点滅/停止させる

指定したAPのランプを点滅させ、特定の装置を目視で判別できるようにします。

1. 「操作>I'm here」画面を選択します。APを選択して【点滅】または【停止】の操作を実行します。



以下の情報を表示します。

- AP 名
AP 名です。「AP 設定>AP 基本設定」画面の設定内容を表示します。
- 機種名
SR-M630AP1 または、SR-M610AP1 を表示します。
- IP アドレス
AP のIP アドレスです。
- バージョン
運用中のソフトウェア版数です。
- 設置場所
AP の設置場所です。「AP 設定>AP 基本設定」画面の設定内容を表示します。
日本語入力も可能です。

以下の操作が可能です。

- 点滅
本体ランプを緑色で点滅します。
- 停止
本体ランプを通常動作に戻します。

3.3 保守

保守メニューでは、ソフトウェアの更新、設定管理情報の退避・復元などができます。

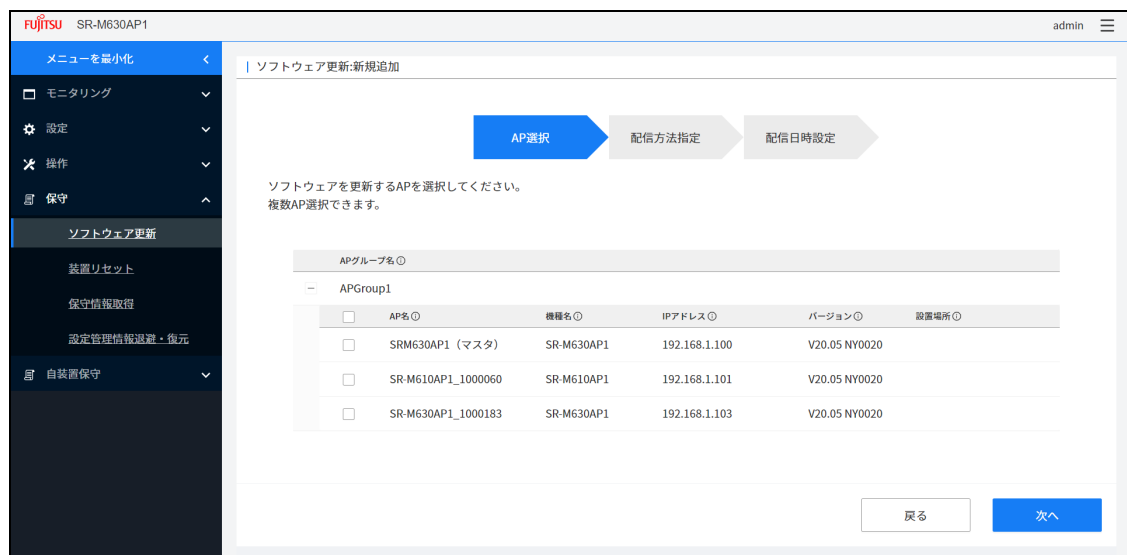
3.3.1 ソフトウェアを更新する

APのソフトウェアを更新することができます。更新日時を指定することも可能です。

1. 「保守>ソフトウェア更新」画面を選択します。[新規追加] をクリックします。



2. ソフトウェア更新するAPを選択します。[次へ] をクリックします。



3. ソフトウェアファイルを選択します。[次へ] をクリックします。

4. ソフトウェア配信開始日時とソフトウェア切替日時を設定します。



補足 ソフトウェアの配信および切替は、日時指定することが可能です。

こんな事に気をつけて

- ソフトウェア更新時は、以下のことを必ず守ってください。
 - ソフトウェアの更新中は、本装置の電源の切断またはリセットを行わないでください。装置が起動しなくなります。
 - 本装置上でデータ通信を行っている場合、データ通信が遅延することがあります。
 - ソフトウェアを更新する前に、現在のソフトウェアにて設定管理情報の退避を実施いただき、退避データを保管してください。マスタAPが装置故障した場合の復元処理や、ソフトウェアや設定内容を以前の状態に戻す場合に必要となります。
 - ソフトウェアを更新後、ブラウザのキャッシュによって更新前のソフトウェアでの画面が表示される場合があります。ソフトウェア更新後はブラウザのキャッシュを削除の上、ブラウザ（タブもすべて）を一度終了させて再起動してください。



参照 「3.3.2 設定管理情報を退避・復元する」 (P.66)

- 集中管理モードでは、すべてのAPを同じ版数のソフトウェアで運用してください。

- ソフトウェア更新に必要な目安時間は、1台のAPに対しておよそ3分となります。
APグループごとに日時指定する場合などは余裕を持って時間設定してください。
なお、ソフトウェア更新はマスタAPを基点に動作しているため、メンバAPとマスタAPのソフトウェア更新タイミングが重なった場合、順序が入れ替わりマスタAPへの更新が最後に実行されることがあります。
- 本装置はソフトウェア格納域が2面あります。ソフトウェア更新は、起動バンクと反対側のバンクに書き込まれ、書き込みが行われたバンクで起動します。また運用面のソフトウェアがFLASHメモリの故障などで正常に起動できなかった場合には、自動的に待機面のソフトウェアを起動します。そのため、同一世代のソフトウェアを運用面、待機面それぞれインストールすることを推奨します。
待機面のソフトウェア版数は、「モニタリング>APモニタリング」画面で、AP名にマウスカーソルを合わせることで表示される装置情報の中で確認できます。

3.3.2 設定管理情報を退避・復元する

現在の本装置の構成定義情報などを設定管理情報として管理端末へ退避します。

設定管理情報を退避しておくことで、装置交換が必要になった場合や、以前の設定状態に戻したい場合などに復元できます。



マスタAPから、すべての管理APの情報をまとめて設定管理情報として退避することが可能です。

こんな事に気をつけて

- 設定管理情報の退避は、非常に重要です。設定内容を変更するたびに、必ず設定管理情報の退避を実施してください。
- 設定管理情報は本装置内には保存されません。必ず管理端末で保存した設定管理情報を大切に保管してください。

マスタAPの設定管理情報を退避する

- 「保守>設定管理情報退避・復元」画面を選択します。「退避」を選択して【実行】をクリックします。



マスタ AP の設定管理情報を復元する

1. 「保守>設定管理情報退避・復元」画面を選択します。「復元」、「復元ファイル」を選択して、[実行] をクリックします。



マスタAPへ設定管理情報を復元した後、マスタAPを装置再起動します。再起動後、メンバAPに対して設定情報の復元と再起動を実施します。メンバAPの設定状態はAPモニタリング画面で確認することが可能です。

3.3.3 保守情報を取得する

指定したAPの保守情報として、解析情報 (tech-support) および定期ログ情報を取得することができます。

1. 保守情報を取得するAPのチェックボックスをクリックし、[次へ] ボタンをクリックします。

AP名	機種名	IPアドレス	バージョン	設置場所
☒ SRM630AP1 (マスタ)	SR-M630AP1	192.168.1.100	V20.05 NY0020	
☐ SR-M610AP1_1000060	SR-M610AP1	192.168.1.101	V20.05 NY0020	
☐ SR-M630AP1_1000183	SR-M630AP1	192.168.1.103	V20.05 NY0020	

2. 保守情報種別を選択し、[実行] をクリックします。



以下の保守情報が取得可能です。

- 解析情報 (tech-support)
本装置の設定情報や各種ステータスなど解析に必要な情報を一括で取得できます。
- 定期ログ情報
定期的にフラッシュメモリへ書き込まれる状態表示、ログ表示コマンドの表示結果の情報です。



解析情報(tech-support)は、複数装置を選択して一括で取得することが可能です。

こんな事に気をつけて

- 保守情報のサイズによっては取得に時間を数分要する場合があります。
- 操作端末のセキュリティソフトやブラウザの設定などにより、保守情報の取得ができずタイムアウトとなる場合があります。

3.3.4 AP を装置交換する

装置故障などにより AP を交換する場合の手順を示します。

マスタ AP を装置交換する

マスタ AP が故障した場合の交換手順を示します。

1. 交換後の AP のソフトウェア版数が運用中のソフトウェア版数と同一であるか確認します。

もし交換前の AP とソフトウェア版数が違う場合はソフトウェアの更新を実施してください。

マニュアル「SR-M610AP1/SR-M630AP1 ご利用にあたって」の「ソフトウェアを更新する」を参照してください。

こんな事に気をつけて

- マスタ AP を装置交換するためには、設定管理情報が退避されている必要があります。
- ソフトウェア版数が同一でない場合、復元処理が正常に実施できない場合があります。必ず同一版数にしてください。

2. WWW ブラウザで交換後の AP に、「Username=admin、Password=なし」でログインします。
初期セットアップ画面で、「退避した設定管理情報から復元します。」を選択します。
マスタ AP から退避した設定管理情報を指定して、[実行] をクリックします。



3. 交換後の AP を運用環境に設置します。AP 起動して数分後に、管理画面にてマスタ AP の稼働状況を確認ください。



交換後の AP が正常に稼働しているかどうかは、「モニタリング>AP モニタリング」画面にて確認ください。

メンバ AP を装置交換する

メンバ AP が故障した場合の交換手順を示します。

1. 交換後の AP のソフトウェア版数が運用中のソフトウェア版数と同一であるか確認します。
交換前の AP とソフトウェア版数が違う場合はソフトウェアの更新を実施してください。
マニュアル「SR-M610AP1/SR-M630AP1 ご利用にあたって」の「ソフトウェアを更新する」を参照してください。

こんな事に気をつけて

メンバ AP を装置交換する場合、必ず同一機種での交換にしてください。

2. WWWブラウザで交換後のAPに、「Username=admin、Password=なし」でログインします。
初期セットアップ画面で「新規に設定を行います。」を選択します。

FUJITSU SR-M630AP1 admin

初期セットアップ

はじめに

はじめに

このたびは、本装置をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
無線LANを使用した安全なネットワークを構築するために、本装置をご利用ください。

本装置の設定方法を選択してください。

☒ 新規に設定を行います。

☐ 回避した設定管理情報から復元します。

次へ

3. 「集中管理モード」、「メンバAP」を選択します。

FUJITSU SR-M630AP1 admin

初期セットアップ

はじめに

はじめに

本装置は、運用方法に合わせてセットアップ方法を選択いただけます。

装置の使用方法を選択してください。

☐ 独立運用モード
単独の無線LANアクセスポイントとして使用します。

☒ 集中管理モード（スマートワイヤレスマネージャ）
複数の無線LANアクセスポイントをグループとして一括設定、集中管理します。

本装置の動作モードを選択してください。

☐ マスタAP APグループを管理するアクセスポイントとして動作します。

☒ メンバAP マスタAPIに管理されるアクセスポイントとして動作します。

戻る 次へ

4. IPアドレスと管理VLAN IDを入力して、[設定] を実行します。

5. 交換後のAPを運用環境に設置します。

設置後、マスタAPからの定期チェックにて構成定義情報の反映と装置再起動が実施されます。



交換後のAPが正常に稼働しているかどうかは、「モニタリング>APモニタリング」画面にて確認してください。
またマスタAPとの連携が完了すると、メンバーAP本体のMANAGEDランプが白色で点灯状態になります。

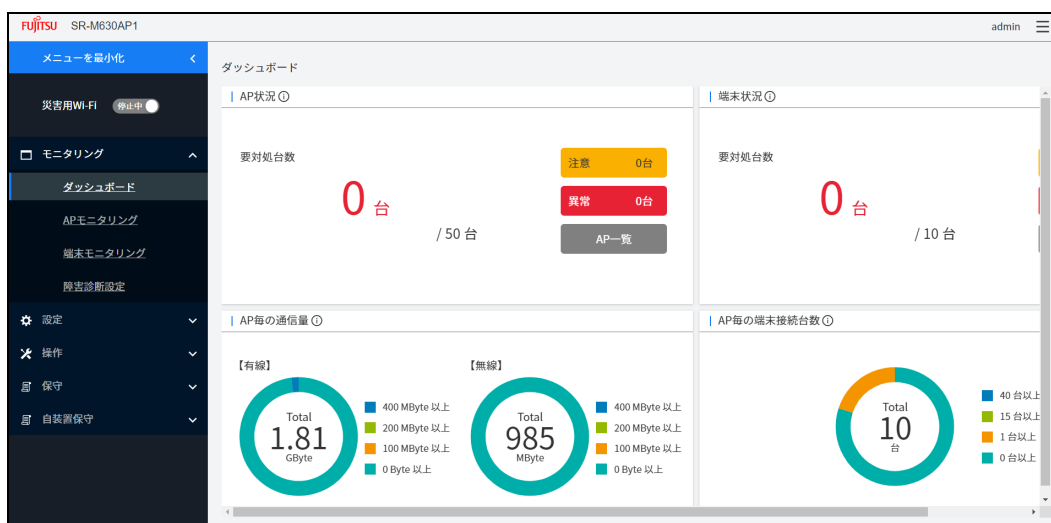
こんな事に気をつけて

追加したAPのソフトウェア版数が、稼働中のAPの版数と一致しない場合は、ソフトウェア更新を実施してください。
ソフトウェア版数は「モニタリング>APモニタリング」画面で確認できます。
また、版数が不一致の場合は障害診断機能でも検出されます。

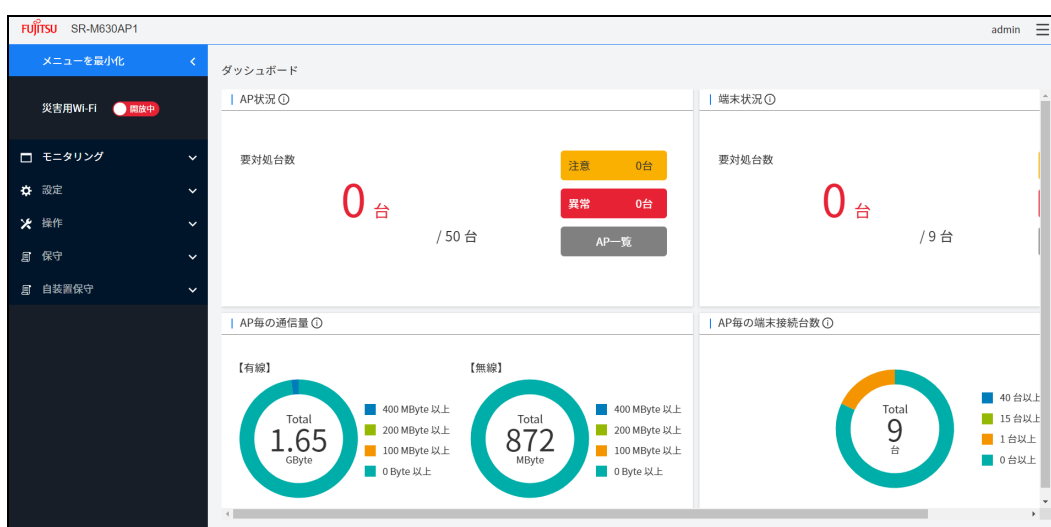
3.3.5 災害用 Wi-Fi を開放する

災害用 Wi-Fi 機能は、トップページの左上にある切換スイッチからの簡単操作で、あらかじめ設定されている災害時に開放する無線 LAN インタフェース (SSID) を開放、停止できる機能です。

1. トップページの左上に災害用 Wi-Fi の切換スイッチが表示されます。[停止中] をクリックします。



2. 災害用 Wi-Fi の開放に成功すると、切換スイッチの表示が [開放中] に変わります。



- 災害用 Wi-Fi の開放または停止状態は、装置再起動した場合も保持されます。
- 開放または停止操作に失敗した AP がある場合、実行結果画面の詳細情報にて確認できます。AP モニタリング画面で、対象 AP の接続状態などを確認のうえ再度実施してください。
- SSID の稼働状況は、「操作 > SSID 閉塞制御」画面で確認することができます。

こんな事に気をつけて

- 災害用 Wi-Fi 機能を使う場合は、管理者クラスでログインしてください。
- 災害時に開放する無線 LAN インタフェース (SSID) が設定されていない場合、トップページ左上の操作スイッチは表示されません。
あらかじめ災害時に開放する無線 LAN インタフェース (SSID) の設定が必要です。
- 災害用 Wi-Fi 開放中は、設定操作はできません。
また、設定反映されていない設定内容がある場合は、災害用 Wi-Fi は開放できません。

SR-M Web ユーザーズガイド

P3NK-7842-03Z0

発行日 2023 年 1 月

発行責任 富士通株式会社

- 本書の一部または全部を無断で他に転載しないよう、お願いいたします。
- 本書は、改善のために予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、 弊社はその責を負いません。